

取扱説明書

Auralis

交互圧カシステム





警告

怪我を避けるため、本製品のご使用前に必ず本取扱説明書及び付属の文書をよくお読みください。

デザインポリシーと著作権

® および ™ は Arjo グループ企業の商標です。

© Arjo 2023.

Arjo の基本ポリシーは継続的な製品の改善を掲げているため、事前に通知することなく設計を変更することがあります。本出版物の内容の全部または一部を Arjo の承諾なしに複製することを禁じます。

目次

はじめに	5
Auralisの使用目的	6
安全に関する注意事項	7
介護施設	9
Auralisシステムの使い方	9
準備	10
患者の使用後	11
部品 - Auralis名称ポンプ	12
部品名称 - Auralis 110オーバーレイマットレス	13
部品名称 - Auralis 175 & 200交換マットレス	14
部品名称 - Auralis Plus交換マットレス	15
部品名称 - Auralisシートクッション	16
製品の説明 - Auralisポンプ	17
コントロールパネル	17
アラームインジケーター	20
吊り下げフック	20
電源コード	20
Skin IQポート	20
製品の説明 - Auralisマットレス	21
CPR	21
着脱式カバー	21
セル	21
ループストラップ	21
Heelguard™ セル	21
セルフック	21
チューブセット	21
コネクター	21
ケーブル管理	22
マイクロエアロスシステム	22
Auralis 110 オーバーレイマットレス	22
固定ストラップ (Auralis 110マットレスオーバーレイ)	22
Auralis 175、200、およびPlus 交換マットレス	22
固定ストラップ	23
オーバーレイとオーバーレイジップ	23
ボルスター (Auralis Plusマットレスのみ)	23
フットエクステンション (Auralis Plusマットレスのみ)	23
マットレスエクステンション (Auralis Plusマットレスのみ)	23
製品の説明 - Auralisシートクッション	24
着脱式カバー	24
交互圧カセル	24
固定ストラップ	24
滑り止めベース	24

収縮バルブ	24
チューブセット	24
コネクター	24
CPR	25
CPR急速収縮ユニットの起動	25
CPRの無効化	25
Auralisシステムの組み立て	26
Auralis 110 オーバーレイマットレス	26
Auralis 175、200、およびPlus 交換マットレス	27
Auralis ポンプ	28
Auralis Plusマットレスエクステンション (アクセサリのみ)	29
Auralis シートクッション	30
Auralisシステムの始動	32
Auralis システムの起動	32
モードの選択	34
オートファームモード	34
交互モード、デフォルト設定	34
リアクティブCLPモード	35
ロックアウトモード	35
搬送モード	36
Auralisシステムの電源オフと保管	38
Auralisポンプの電源をオフにする	38
Auralis マットレスの収縮と保管	38
Auralisシートクッションの収縮と保管	39
Auralis ポンプの保管	39
クリーニングと消毒の手順	40
清掃と消毒	41
ケアと予防保守	44
耐用年数	44
清掃と消毒	46
すべてのラベルの目視点検	47
トラブルシューティングとアラーム	48
技術仕様	51
ラベル	54
電磁環境適合性 (EMC)	58
部品とアクセサリ	63

はじめに

ARJO 製品をご購入いただき、ありがとうございます。

お問い合わせ先について

本製品、部品供給、保守に関するご質問、あるいは Arjo 製品ならびにサービスに関する補足情報につきましては、Arjo あるいは Arjo 正規代理店にお問い合わせいただくか、www.arjo.com/ja-jp/ をご覧ください。

Auralis™ システムのご使用前に、本取扱説明書を必ず読んで理解してください。

本取扱説明書 (IFU) の内容は、製品の正しい使用方法と保守を行う上で必要になります。取扱説明書は、製品の性能の保護と、お客様の快適な製品の使用を目的としています。本取扱説明書 (IFU) には安全面で重要な情報も含まれているため、怪我を避けるためにも一読して理解してください。承認を受けずに行った Arjo 製品の改造は、安全性を損なう恐れがあります。承認を受けずに行った製品の改造が原因で発生した事故、未遂事故、製品不具合について、Arjo は責任を負いません。

サポート

機器の安全性と信頼性を維持するために、Auralis システムの日常点検は必ず使用前または毎週（長期使用の場合）に実施する必要があります。詳細情報は点検・保守のセクションをご覧ください。長期にわたっての製品の安全性、信頼性、価値を最大限に引き出せるように、総合的なサポートと保守に関する詳細については Arjo までお問い合わせの上、ご相談ください。サービス部品については、最寄りの Arjo 代理店にお問い合わせください。電話番号は本取扱説明書の最後のページに記載されております。

本機器に関連してユーザまたは患者に影響する重大な事象が発生した場合、ユーザまたは患者はその事象を製造販売元あるいは販売元に必ず報告してください。欧州連合では、ユーザは、重大な事象を居住する加盟国の所轄官庁にも報告してください。

本取扱説明書における定義



警告

警告の意味：安全上の警告内容の理解不足であったり、警告に従わなかった場合、他人も含めご自身も怪我をする恐れがあります。

注意

注意の意味：手順に従わなかった場合、システム自体または製品の全体あるいは一部に不具合が発生する恐れがあります。

注記

注記の意味：システムまたは製品の正しい使用方法に関する重要な情報です。

Auralis の使用目的

Auralis システムは、医療施設など、急性期および急性期後のケア施設において、医療従事者¹により操作されることを想定しています。

このシステムは、体位変換、栄養サポート、スキンケアといった、個別かつ包括的な褥瘡予防プロトコルと組み合わせて、あらゆるカテゴリーの圧力損傷（褥瘡）予防および/または管理に使用できます。

このシステムは、圧力損傷（褥瘡）管理プロトコルに関するアプローチの一端に過ぎず、ケアについては処方する医師がさまざまな角度から検討する必要があります。既存の傷が改善されない場合、あるいは患者の容態が変化した場合、ケア全体を見直すようにしてください。

上記は、あくまでガイドラインであり、臨床判断に置き換わるものではありません。このシステムは、2つの治療モードを提供します。「リアクティブ圧力分散」と「アクティブ（交互）圧力分散」です。

このシステムは本取扱説明書で指定された用途にのみ使用してください。

それ以外の使用は禁止します。

患者のアセスメント

- 定期的な患者アセスメント手順を確立してください。介助者は、使用前に以下の基準に基づいて各患者のアセスメントを実施してください。
- 標準および細めの Auralis マットレスは、体重が 250 kg (550 ポンド) 以上の患者に使用しないでください。
- Auralis シートクッションは、体重が 200 kg (440 lb) 以上の患者に使用しないでください。
- Auralis Plus マットレスは、体重が 100 kg (220 lb) ~ 454 kg (1000 lb) の患者に使用できます。
- Auralis Plus マットレスは、体脂肪率 (BMI) が 30 以上の患者に使用できます。

禁忌

頸部が不安定、胸部および/または腰椎骨折、頸部牽引、骨格牽引を伴う患者には使用しないでください。

注意

患者様が骨折をして不安定な場合や柔らかい、または動く接地面によって状態が悪化する可能性がある場合は、使用する前に必ず医師に相談してください。標準および細めの Auralis マットレスシステムは、上述の耐荷重を有する利用者に対応できるように設計されていますが、この上限に近い体重の利用者には特別なケアや離床が必要であることから、Auralis Plus マットレスなどのような体重制限値の高いシステムを使用してください。

耐用年数

Auralis ポンプの想定耐用期間は、取扱説明書に記載されているお手入れと手順に基づいてメンテナンスが実施されていることを前提に、7年です。

1. この機器を操作するのは、医療従事者です。

安全に関する注意事項



警告

重大な怪我や死亡を避けるため、CPR 機能装置は常に目視可能かつアクセス可能でなければなりません。



警告

巻き込みを避けるため、電源コードは常に管理をしてください。



警告

怪我を避けるため、主電源のソケットとプラグは常にアクセス可能な状態にしてください。Auralis ポンプを電源から完全に切り離すには、プラグを主電源のコンセントから外してください。



警告

絡まり事故防止のため、Auralis システム使用中は、お子様や様態が悪い方から目を離さないでください。



警告

褥瘡を避けるため、Auralis システムが正しく組み立てられていることを確認してください。



警告

身体への傷害を避けるため、Auralis マットレスを移乗機器として使用しないでください。



警告

窒息を避けるため、使用中は Auralis マットレスカバーと Auralis シートクッションカバーを常に取り付けてください。



警告

熱傷を避けるため、可燃性の液体やガスが存在する環境で Auralis ポンプを使用しないでください。



警告

落下や怪我を避けるため、コードとチューブセットが正しく配置され、ベッドの可動部品や挟み込みの可能性がないことをご確認ください。



警告

褥瘡を避けるため、患者は折り目や縫い目などによって局所に高圧領域を発生させるおそれのある衣服を着用しないでください。また同じ理由により、ポケットに物を入れることも避けてください。



警告

Auralis マットレスの効果が下がるので、患者と Auralis マットレスの間に余分な層を作らないでください。



警告

患者の怪我を避けるため、お子様やペットを本製品から遠ざけてください。



警告

窒息を避けるため、本製品に同梱されているバッグは乳児や小さなお子様の手の届かないところに保管してください。

 **警告**

電気機器は誤った使用方法で、より危険なものになる可能性があります。純正ではない付属品の使用や、Auralis システムの改造、分解あるいは誤使用は絶対にしないでください。

 **警告**

窒息を避けるため、機器の近くでは、お子様から目を離さないでください。本製品には小さな部品が含まれています。小さいお子様、容態の悪い方々、ペットが飲み込んだり吸引したりすると窒息する危険性があります。

 **警告**

Auralis ポンプの使用中は、保守やメンテナンスを行わないでください。

 **警告**

患者が不快感を感じたり、怪我をしないようにするために、360 kg (793 ポンド) を超える患者のコンフォートレベルは常に最大に設定してください。

注意

機器の損傷を避けるため、Auralis システムの近くにいるペットやお子様達から目を離さないでください。

注意

製品の損傷を避けるため、Auralis ポンプは決して熱源の近くで使用しないでください。

注意

機器の損傷を避けるため、Auralis システムの上または下で、鋭利な物や電気敷毛布を使用しないでください。

注意

機器の損傷を避けるため、タバコのような裸火を Auralis システム、特にマットレスに近づけないでください。Auralis マットレスや Auralis シートクッションにエア漏れがあると、火災が拡大するおそれがあります。

介護施設

Auralis システムの使い方

施設環境で Auralis システムを使用する前に、身内を含む介助者全員が本取扱説明書の手順を必ず読んで理解してください。

Auralis システム使用中の注意事項：

- Auralis システムを熱源や湿気から遠ざけ、ほこり、糸くず、汚れから保護してください。
- Auralis システムをカバーなどで覆わないでください。
- 本項 51 ページの「操作条件」に従い、その基準を満たした環境で使用してください。

Auralis システム未使用時の注意事項：

- お子様が Auralis システムに触れないようにしてください。
- ペットを Auralis システムに接触させないでください。
- 本項 52 ページの「輸送と保管条件」に従い、その基準を満たした環境で保管してください。

警告

医療従事者が Auralis システムを操作する際に、患者の事故を防ぐため、以下のことに注意してください。

- システムがセクション 17 ページの「製品の説明 - Auralis ポンプ」、21 ページの「製品の説明 - Auralis マットレス」、および 24 ページの「製品の説明 - Auralis シートクッション」に従って動作していることを確認します。
- 機器が正常に動作していない場合は、セクション 48 ページの「トラブルシューティングとアラーム」を参照してください。
- それでもシステムが正常に作動しない場合や、不安な点がある場合は、患者の主治医または看護師に相談してください。

準備

ベッドフレームの推奨

Auralis Plus マットレスは、Arjo Citadel Plus ベッドフレームと併用することを前提としています。

Auralis マットレスシリーズ（ナロー、スタンダード、プラス）は、他のベッドフレーム（Arjo または Arjo 以外）でも使用できます。使用するマットレスとベッドフレームの組み合わせを決定するには、臨床医または介助者による評価が必要です。互換性のあるマットレスのサイズについてはそれぞれのベッドフレーム IFU を、すべての Auralis マットレスの寸法については 52 ページ（本取扱説明書）を参照してください。

初めて使用するにあたって

(5 ステップ)

1. 梱包状態に損傷がないか確認して下さい。輸送中に製品本体が損傷していた場合は、運送会社にお問い合わせください。
損傷した製品は、使用しないでください。
2. 付属品がすべてそろっているか確認してください：
 - 電源コードと吊り下げフック付き Auralis ポンプ、
 - Auralis 110 マットレスオーバーレイ、Auralis 175、200、または Plus 交換マットレス、Auralis シートクッション。すべて一体型チューブセットとカバー付き。
3. 梱包材は地方自治体の法令に従ってリサイクルしてください。
4. 本取扱説明書を必ずお読みください。
5. 取扱説明書はいつでも容易に参照できる指定保管場所に保管してください。

使用するにあたり

(2ステップ)

1. Auralis システムをセクション 45 ページの「ケアと予防保守計画」に従って検査します。
2. 破損している部品がある場合は、本製品を使用しないでください。

患者の使用後

本セクション 40 ページの「クリーニングと消毒の手順」に従って、各患者の使用後、本製品を清掃及び消毒してください。

介助者の位置

ポンプの動作中は、介助者はポンプの正面に居てください。図 1 を参照してください。

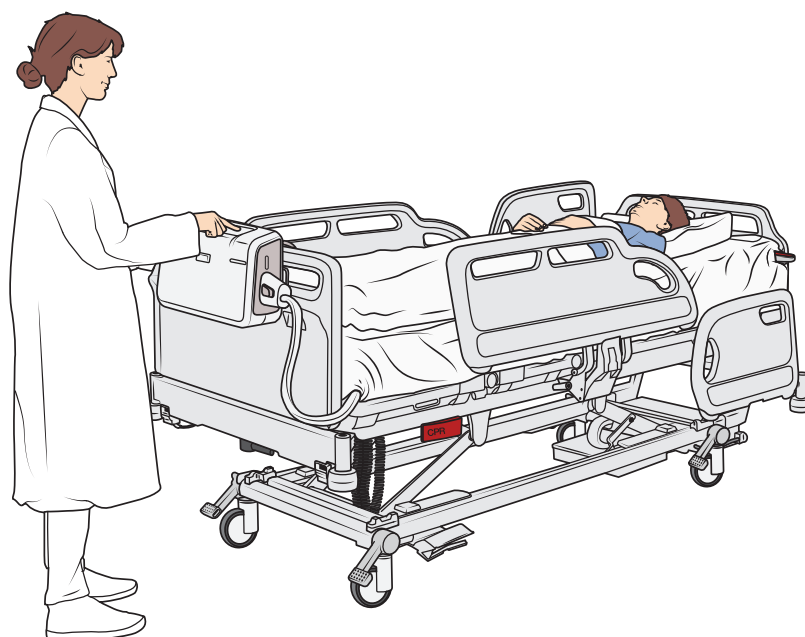
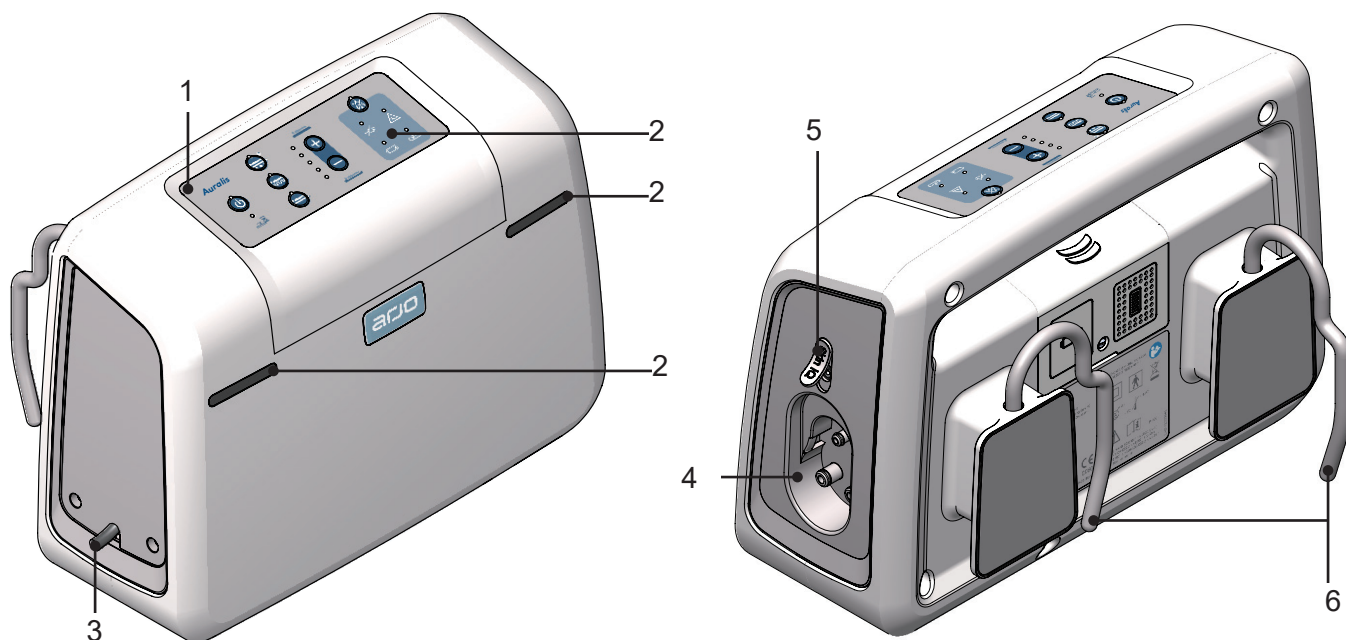


図 1

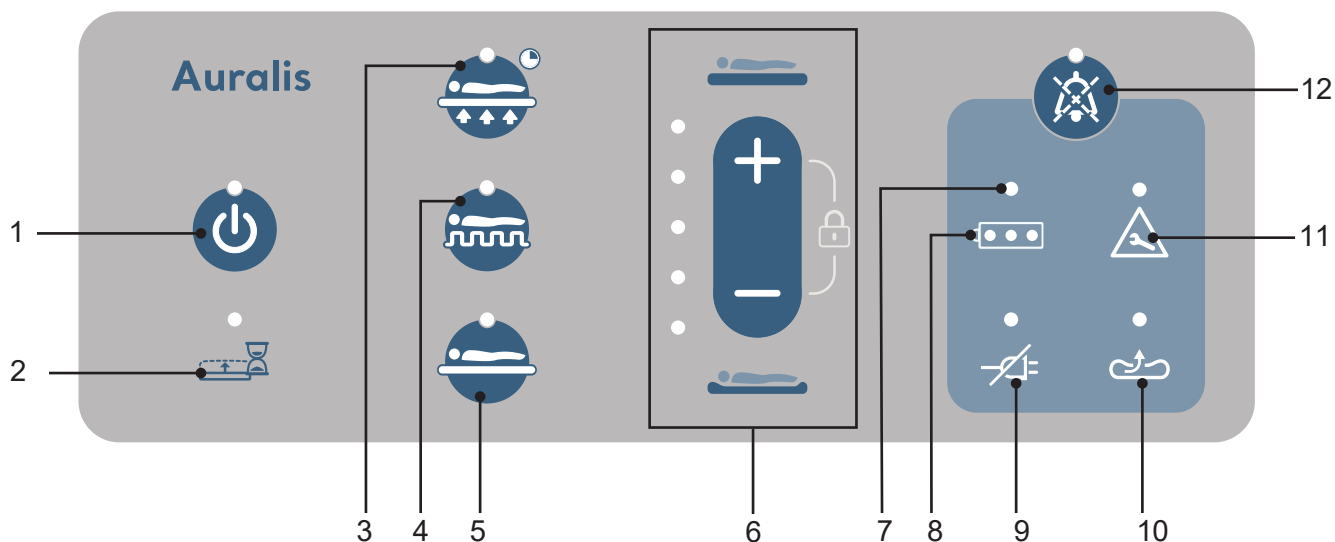
部品 - Auralis 名称ポンプ



- 1. コントロールパネル (インジケータ付き)
- 2. アラームインジケータ
- 3. 電源コード

- 4. コネクターソケット
- 5. Skin IQ ポート
- 6. 吊り下げフック

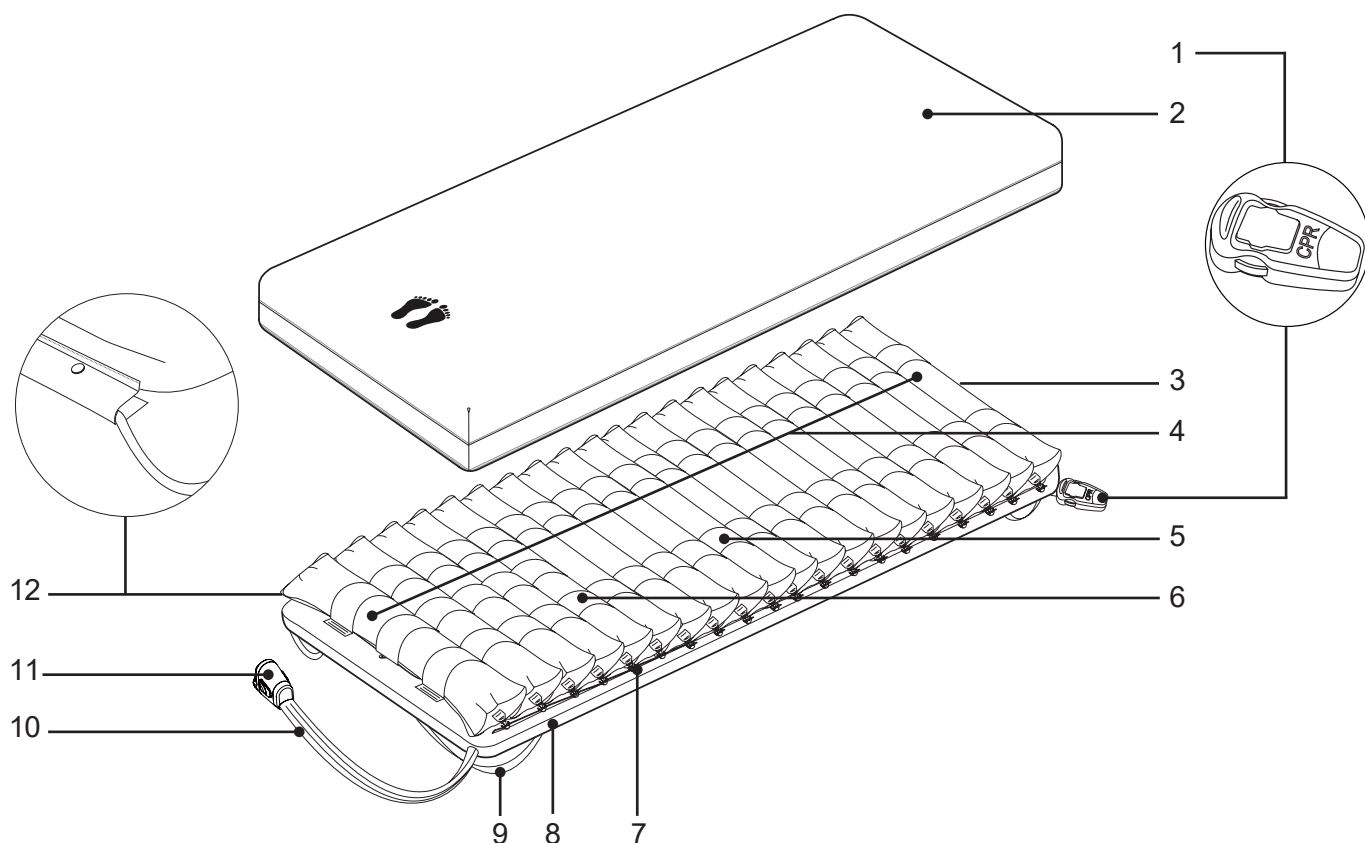
コントロールパネル - ボタンとインジケータ



- 1. 運転 / スタンバイボタンとインジケータ
- 2. ウェイトインジケータ
- 3. オートファームモードボタン
- 4. 交互圧力モードボタン
- 5. リアクティブ CLP (常時低圧) モードボタン
- 6. コンフォートコントロールボタン / インジケータ
ロックアウトボタン / インジケータ

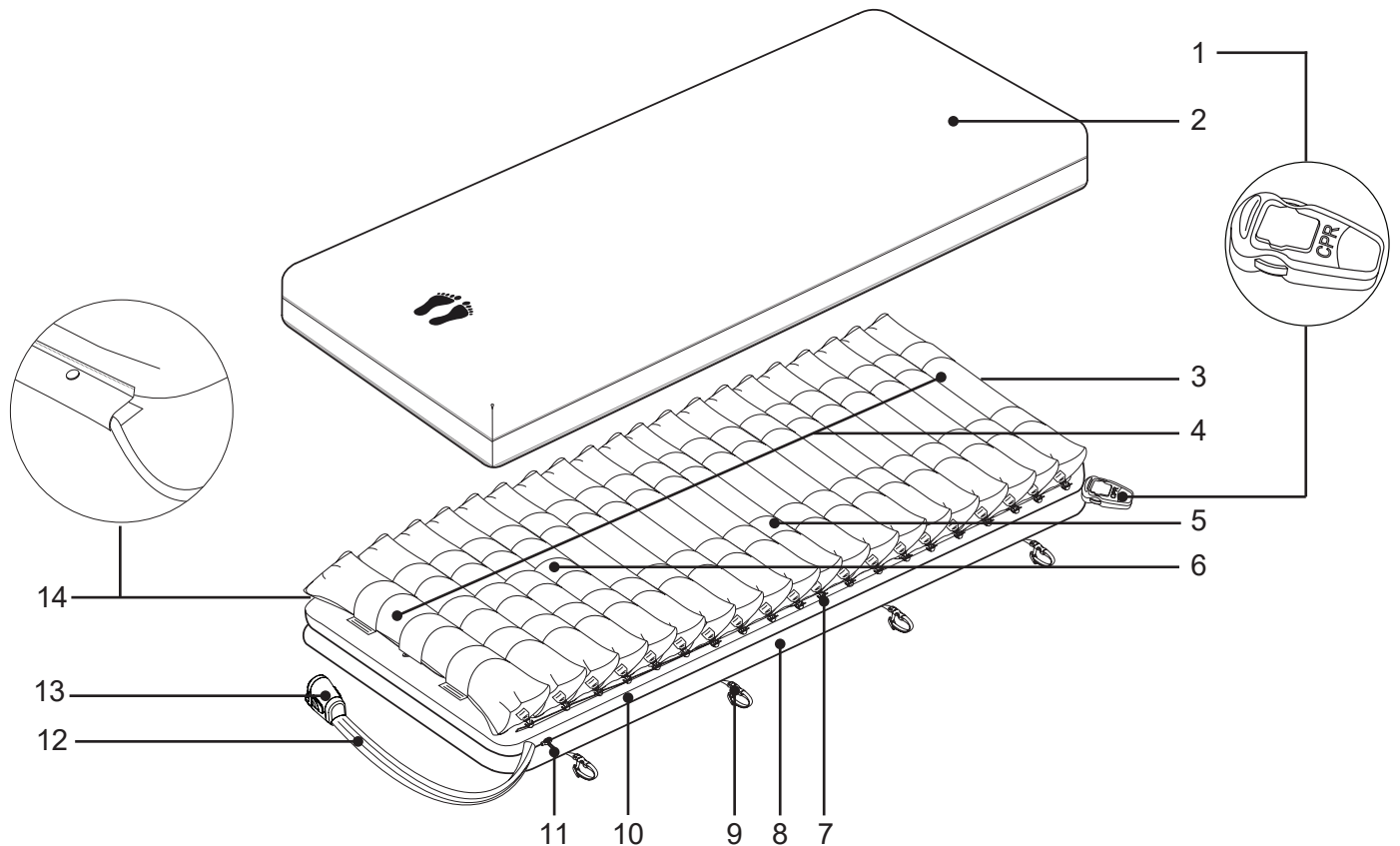
- 7. 低バッテリー残量インジケータ
- 8. バッテリー充電インジケータ
- 9. 主電源障害インジケータ
- 10. 低圧インジケータ
- 11. サービスインジケータ
- 12. アラームミュートボタンとインジケータ

部品名称 - Auralis 110 オーバーレイマットレス



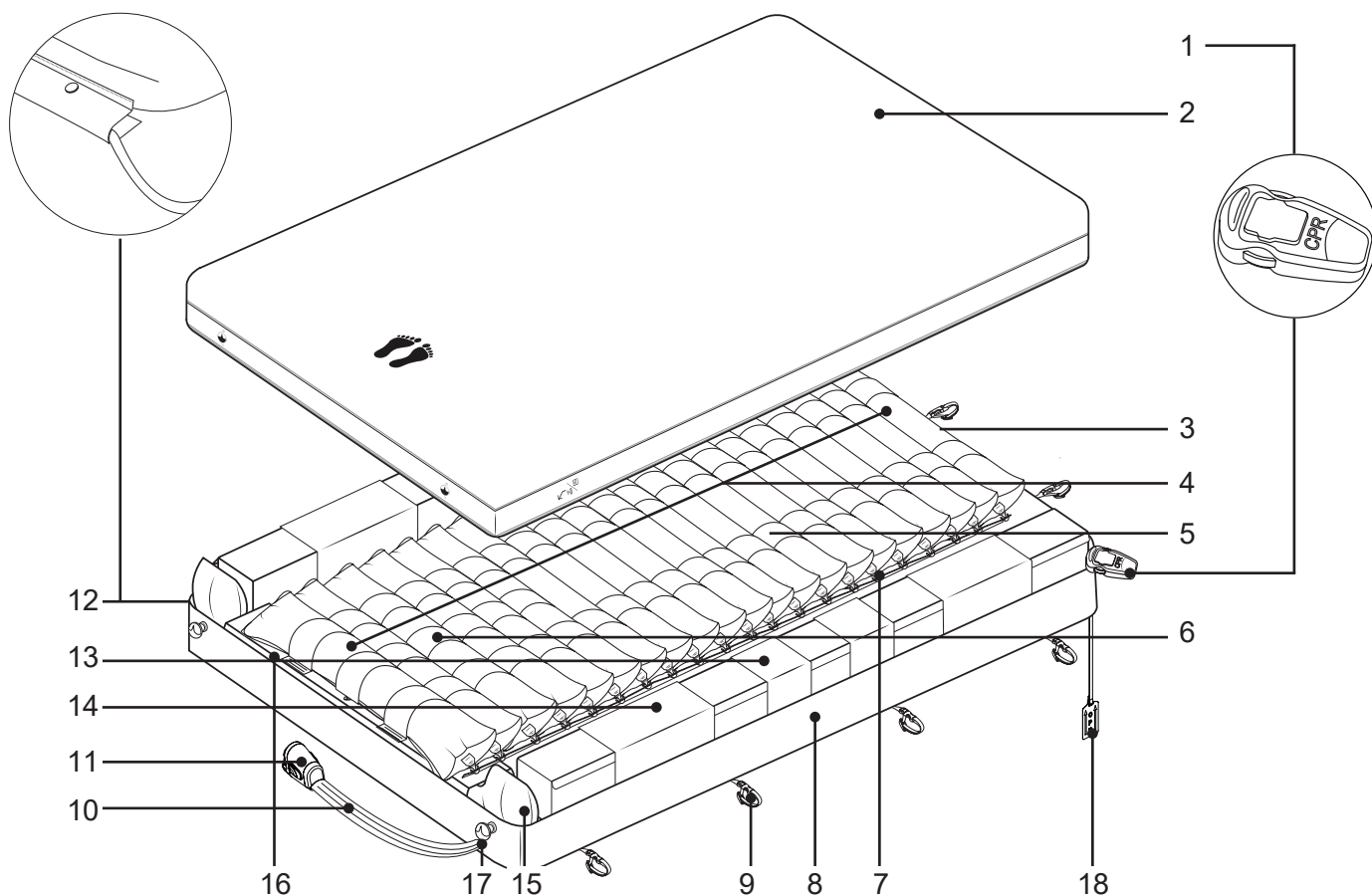
1. CPR
2. 着脱式カバー
3. カバーアタッチメントジッパー
4. セル (数量)
 - ヘッドセル (3)
 - 胴体セル (12)
 - Heelguard™ セル (5)
5. ループストラップ
6. Heelguard™ セルストラップ
7. セルフック
8. オーレイベースカバー (マイクロエアロスシステムを含む)
9. 固定ストラップ
10. チューブセット
11. コネクター
12. ケーブル管理

部品名称 - Auralis 175 & 200 交換マットレス



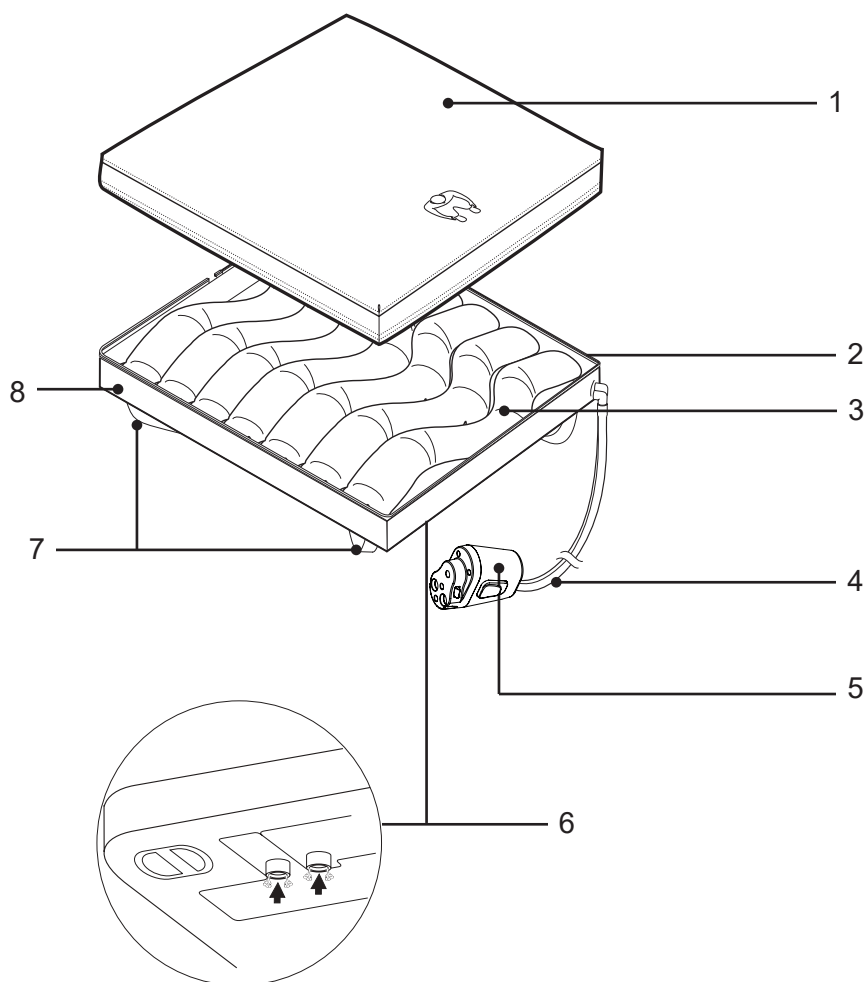
1. CPR
2. 着脱式カバー
3. カバーアタッチメントジッパー
4. セル (数量)
 - ヘッドセル (3)
 - 胴体セル (12)
 - Heelguard™ セル (5)
5. ループストラップ
6. Heelguard™ セルストラップ
7. セルフック
8. 滑り止めベース付き：
 - フォームアンダーレイ (マットレス 175)
 - エア充填ゾーンサブマットレス (マットレス 200)
9. 固定ストラップ (各側面に 4)
10. オーレイベース (マイクロエアロスシステムを含む)
11. オーレイジッパー
12. チューブセット
13. コネクター
14. ケーブル管理

部品名称 - Auralis Plus 交換マットレス



- | | |
|----------------------------------|-----------------------------------|
| 1. CPR | 9. 固定ストラップ (各側面に4つずつ、
頭部先端に3つ) |
| 2. 着脱式カバー | 10. チューブセット |
| 3. カバーアタッチメントジッパー | 11. コネクター |
| 4. セル (数量) | 12. ケーブル管理 |
| • ヘッドセル (3) | 13. ボルスター (x2) |
| • 胴体セル (12) | 14. ボルスタースリーブ (x2) |
| • Heelguard™ セル (6) | 15. 空気経路 |
| 5. ループストラップ | 16. フットエクステンションスリーブ |
| 6. Heelguard™ セルストラップ | 17. ボルスターのバルブ (x2、バルブ記号の下) |
| 7. セルフック | 18. CPR タグ |
| 8. 滑り防止ベース、空気充填ゾーン式
サブマットレス付き | |

部品名称 - Auralis シートクッション



1. 着脱式カバー
2. カバーアタッチメントジッパー
3. 交互圧カセル
4. チューブセット
5. コネクター
6. 収縮バルブ
7. 固定ストラップ
8. 滑り止めベース

製品の説明 - Auralis ポンプ



図 2



図 3



図 4



図 5

注記

インジケータには 3 色あります：

- 緑のインジケータは機能
- 黄色のインジケータは情報信号またはアラームです
- 青のインジケータはバッテリー充電中

コントロールパネル

運転 / スタンバイボタン

運転 / スタンバイボタン（図 2 を参照してください）は、Auralis ポンプを運転モードとスタンバイモードの間で切り替えます。

運転モード - ボタンを 1 回押します。インジケータが点滅から点灯になります。

スタンバイモード - ボタンを 2 秒間押します。

インジケータが常時点灯から点滅に変わります。

注記

停電またはバッテリー動作中に Auralis ポンプを停止するには、運転 / スタンバイボタンを 4 秒間押します。

ウェイトインジケータ

Auralis マットレスまたはシートクッションが膨張していると、ウェイトインジケータ（図 3 を参照してください）が点灯します。Auralis マットレスまたは Auralis シートクッションが完全に膨張して使用準備が完了するまでの間、インジケータは約 15 分間点灯したままになります。Auralis Plus マットレスが完全に膨らむまでに約 17 分かかります。

オートファームモードボタン

オートファームモード（図 4 を参照してください）で Auralis マットレスの表面が一時的に硬くなり、看護手順を実施できるようになります。オートファームモードは 15 分間継続しますが、5 分刻みで最大 30 分延長できます。作動するとインジケータが表示されます。Auralis シートクッションにオートファームモードはありません。

交互圧力モードボタン

交互圧力モード（図 5 を参照してください）はデフォルトで設定されています。



図 6

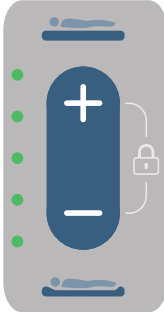


図 7



図 8



図 9



図 10

交互圧力モードは、さまざまなセルを膨張 / 収縮させて血流を促す流動的な表面を作ります。作動するとインジケータが表示されます。

リアクティブ CLP (常時低圧) モードボタン

リアクティブ CLP モード (図 6 を参照してください) は、すべてのセルで常時低圧を維持します。作動するとインジケータが表示されます。Auralis シートクッションにリアクティブ CLP モードはありません。

コンフォートコントロールボタンとインジケータ

コンフォートコントロールボタン (図 7 を参照してください) は、支持表面内の圧力を調節して快適なレベルを設定します。コンフォートコントロールインジケータは快適さの設定を示します。システムが最初にオンにされたとき、デフォルトのコンフォート設定は中間になっています。

- + ボタンを押すと、セル内の圧力が上がり、マットレスが固くなります。
- - ボタンを押すと、セル内の圧力が下がり、マットレスが柔らかくなります。

ロックアウトモード

ロックアウトモードでは、ポンプがロック状態に設定され、意図しない設定の変更が防止されます。

ポンプがロックアウトモード時に他のボタンを押すと、警告音が鳴り、上部と下部のコンフォートコントロールインジケータが同時に点滅し、ポンプがロックアウトモードであることを示します。図 8 を参照してください。

アラームミュートボタン

アラームミュートボタン (図 9 を参照してください) が作動するとインジケータが表示され、アラーム音が 15 分間消されます。

アラーム条件が修正されると、アラームはキャンセルされます。

主電源障害インジケータ

主電源障害インジケータ (図 10 を参照してください) は、主電源に障害が検出されると作動します。インジケータは障害を警告するために表示されます。ポンプはバッテリーを使用して正常に動作し続けます。アラーム音は鳴りません。

次ページへ続く。



図 11

サービスインジケータ

サービスインジケータ (図 11 を参照してください) は 2 種類の状態を示します。

- Auralis ポンプのサービス準備が完了すると、サービスインジケータが黄色になり、フロントパネルのアラームインジケータが緑色に変わります。これは情報信号であり、アラーム状態ではありません。
- Auralis ポンプに内部障害があると、サービスインジケータが黄色になり、フロントパネルのアラームインジケータが黄色になり、警報音が鳴ります。サービスインジケータが表示されるまでに最大 22 分かかかる可能性があります。アラームはミュートにすることができます (アラームミュートボタンを参照)。

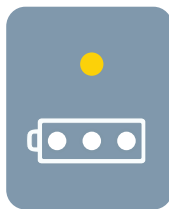


図 12

低バッテリー残量インジケータ

バッテリー残量が最小の 1 時間になると、シングル (上部) インジケータ (図 12 を参照してください) が表示され、アラーム音が鳴ります。アラームはミュートにすることができます (アラームミュートボタンを参照)。バッテリー残量が 15 分を下回ると、Auralis ポンプはリアクティブ CLP モードになります。この時点で、アラーム音をミュートにすることはできません。

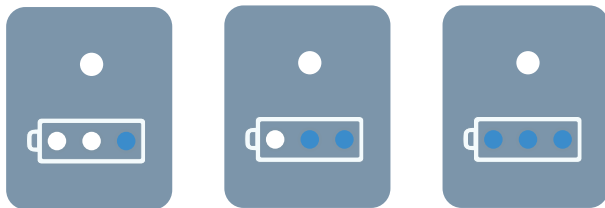


図 13

バッテリー充電インジケータ

3 番目のインジケータ (青) (図 13 を参照してください) はバッテリーの充電レベルを示します。インジケータが点滅している場合は充電中であることを示します。インジケータは、充電されると点灯状態になります。各インジケータは、バッテリー満充電の 1/3 を表します。



図 14

低圧インジケータ

Auralis ポンプがマットレスまたはシートクッションの低圧を検出すると、30 分以内に低圧インジケータ (図 14 参照) が表示されます。マットレスの場合、反復アラーム音はミュートにできますが (アラームミュートボタンを参照)、低圧問題が解決するまでアラームインジケータは「オン」のままです。非反復アラーム音を必要とする場合、アラーム音 (アラームインジケータではありません) の設定変更は、必ず有資格者のみが行ってください。シートクッションの場合、反復アラーム音が鳴ることはなく、警告音が 1 回だけ鳴ります。

使用中にマットレスまたはシートクッションの接続が外れた場合は、30 秒後に低圧インジケータが表示されます。インジケータが表示されると、反復アラーム音が鳴ります。アラームはミュートにすることができます (アラームミュートボタンを参照)。

次ページへ続く。

ポンプの起動時にマットレスが接続されていないことをポンプが検出すると、低圧インジケータが表示され、警告音が1回鳴ります。

アラームインジケータ

電源インジケータとアラームインジケータは、Auralis ポンプ上部（コントロールパネル）と前面にあります。ポンプの前面に表示されるアラームインジケータは、ポンプが正常に動作している場合は緑色、アラーム状態の場合は黄色です。図 15 を参照してください。

吊り下げフック

吊り下げフックはベッドの足部先端に Auralis ポンプを吊り下げるために使用します。図 16 を参照してください。

電源コード

電源コードは、Auralis マットレス左側にあるケーブル管理ポケットに収納してください。セクション 22 ページの「ケーブル管理」を参照してください。

Skin IQ ポート

このポートは Skin IQ 専用です。

図 17 を参照してください。

Skin IQ をポンプから直接電力供給するためには、コイル状の Skin IQ 電源コードが必要です。

63 ページの「部品とアクセサリ」を参照してください。

Skin IQ の使用手順については、それぞれの Skin IQ 取扱説明書を参照してください。

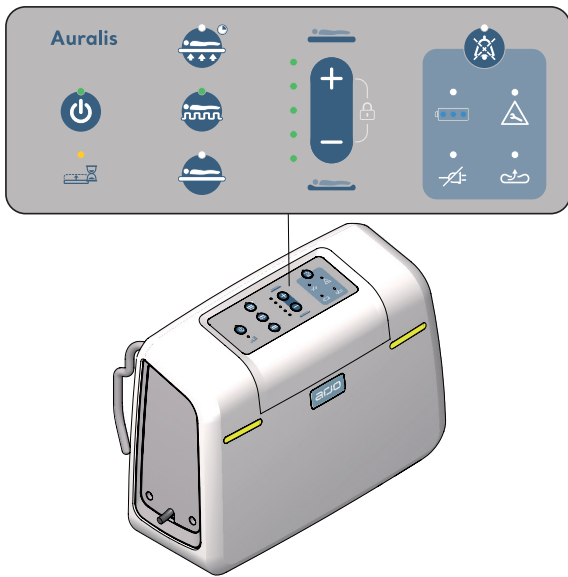


図 15

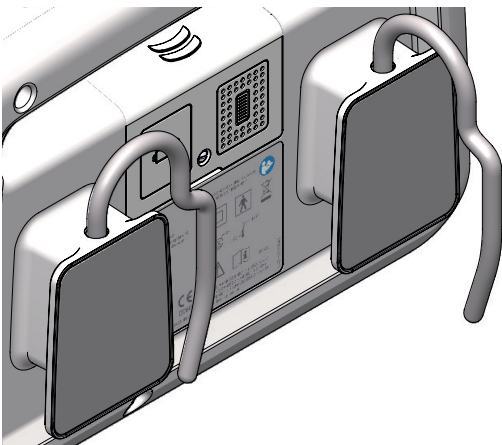


図 16



図 17

製品の説明 - Auralis マットレス

CPR

心肺停止の場合は、マットレス右側の頭部先端に配置されている CPR を使用します。CPR の使用方法は、セクション 25 ページの「CPR」を参照してください。

CPR はまた、保管前に Auralis マットレスを収縮させる際にも使用されます。

着脱式カバー

着脱式カバーはジッパーで装着します。

セル

Auralis マットレスセルは、選択された治療モード（交互または静的圧力モード）を患者に提供します。

- 3 ヘッドセル、スタティックのみ
- 12 胴体セル、交互 /CLP
- 5 フットセル、Heelguard™、交互 /CLP (Auralis)
- 6 フットセル、Heelguard™、交互 /CLP (Auralis Plus)

ループストラップ

ループストラップはセルを整列させ、セルの位置を保持します。

Heelguard™ セル

Heelguard™ セルはかかと部分の圧力をより長時間より低く保ちます。

セルフック

セルフックはセルを Auralis マットレスベースに固定します。

チューブセット

チューブセットはアンチキンクで、Auralis マットレスから取り外すことはできません。

コネクタ

コネクタをカチッと止まるまでコネクタソケットに差し込みます。図 18 を参照してください。

コネクタは 2 つのサイドボタンを同時に押すと外れます。図 19 を参照してください。

次ページへ続く。

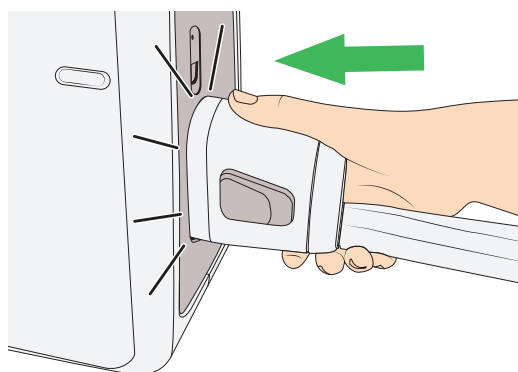


図 18

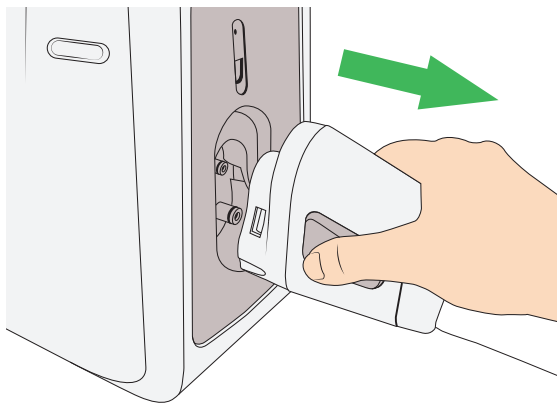


図 19



図 20

ケーブル管理

ケーブルの配置 (3 ステップ)

1. チューブセットおよび CPR の反対側にあるコード管理ポケットを開きます。
2. コードをケーブル管理ポケットに収納します。
3. コードフラップのスナップボタンを閉じます。図 20 を参照してください。

マイクロエアロスシステム

ベースカバーにはマイクロエアロスシステムが内蔵されています。セル周囲の空気を除湿してマットレス内の温度上昇を抑制し、患者の快適性を確保します。このシステムはセルの膨張から分離しているため、マイクロエアロスシステムと患者搬送モードの両方を実現することが可能になります。

Auralis 110 オーバーレイマットレス

Auralis 110 マットレスは上に敷くオーバーレイで、既存ベッドマットレスの上に設置されます。

固定ストラップ

(Auralis 110 マットレスオーバーレイ)

4 本の固定ストラップは既存ベッドマットレスの四隅の下に取り付けられ、Auralis 110 オーバーレイマットレスが滑り落ちるのを防ぎます。

Auralis 175、200、および Plus 交換マットレス

Auralis 175、200、および Plus は既存ベッドマットレスの交換品です。すべて滑り止め銀素材ベースを使用しています。

- Auralis 175 マットレスにはフォームアンダーレイが備わっています。
- Auralis 200 および Plus マットレスは、エア充填ゾーン式サブマットレスを備えています。

次ページへ続く。

固定ストラップ

Auralis 175、200、Plus 交換マットレスには8つの固定ストラップがあり、マットレスのベースの10個のアンカーポイントのいずれかに移動できます。これにより、交換マットレスをさまざまなタイプのベッドフレームに取り付けることが可能になります。さらに、Auralis Plus では、頭部先端に3つの固定ストラップがあり、患者の体重増加によるマットレスの動きを防ぎます。

オーバーレイとオーバーレイジッパー

Auralis 175 および 200 交換マットレスはすべて、オーバーレイに転換できます。オーバーレイジッパーを使用してベースを取り外してください。図 21 を参照してください。

そしてオーバーレイは、既存ベッドマットレスの上に設置もできます。

ボルスター (Auralis Plus マットレスのみ)

ボルスターは、マットレスの両側にあり、ベッドの幅が異なる位置にフィットします。足先端のバルブで膨張・収縮させることで、以下のいずれかの状態になります。

- 片方のボルスターが膨張 (左または右)
- 両方のボルスターが膨張 (左および右)
- 両方のボルスターが収縮 (左および右)

フットエクステンション (Auralis Plus マットレスのみ)

これは、追加の Heelguard™ セルおよびスリーブに含まれる空気チャネルの双方で構成されています。空気チャネルは、各ボルスターに供給します。

マットレスエクステンション (Auralis Plus マットレスのみ)

2つのサイズのマットレスエクステンションがアクセサリとして利用できます。セクション 63 ページの「部品とアクセサリ」を参照してください。これらはベッドの脚部に配置することができます。セクション 29 ページの「Auralis Plus マットレスエクステンション (アクセサリのみ)」を参照してください。

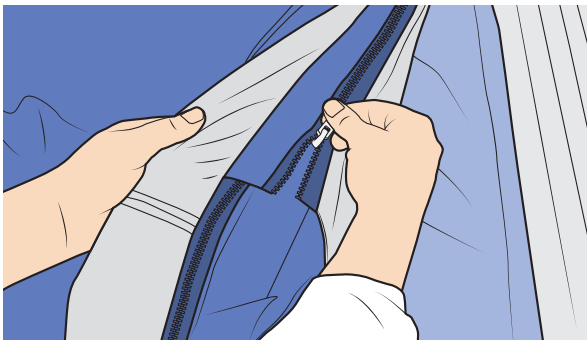


図 21

製品の説明 - Auralis シートクッション

着脱式カバー

着脱式カバーはジッパーで装着します。

交互圧力セル

シートクッションセルは、交互圧力を提供します。Auralis シートクッションは、交互圧力モードでのみ使用できます。

固定ストラップ

4本の固定ストラップは、オープン構造または取り外し可能なシートクッション付きの Auralis シートクッションが椅子から落ちるのを防ぎます。

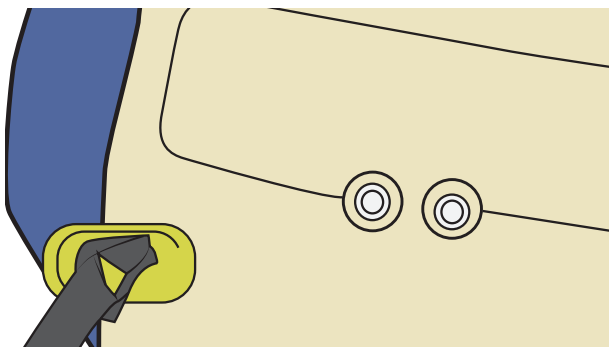


図 22

滑り止めベース

滑り止めベースは、固定ストラップが使用不可能な際に Auralis シートクッションが滑るのを防ぎます。

収縮バルブ

2つの収縮バルブは Auralis シートクッションの下側にあります。図 22 を参照してください。

チューブセット

チューブセットは折れ曲がれ防止になっています。シートクッションから取り外すことはできません。

コネクター

コネクターをカチッと止まるまでコネクターソケットに差し込みます。図 23 を参照してください。

コネクターは2つのサイドボタンを同時に押すと外れます。図 24 を参照してください。

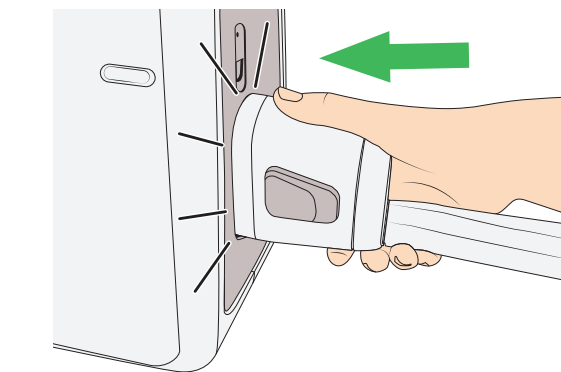


図 23

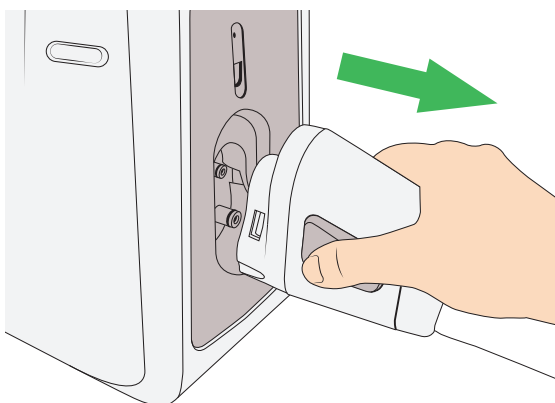


図 24

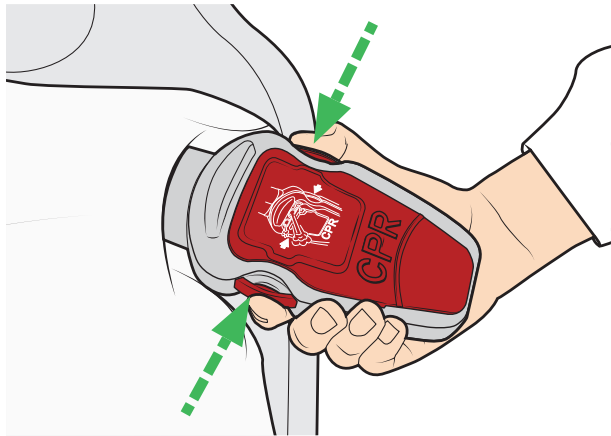


図 25

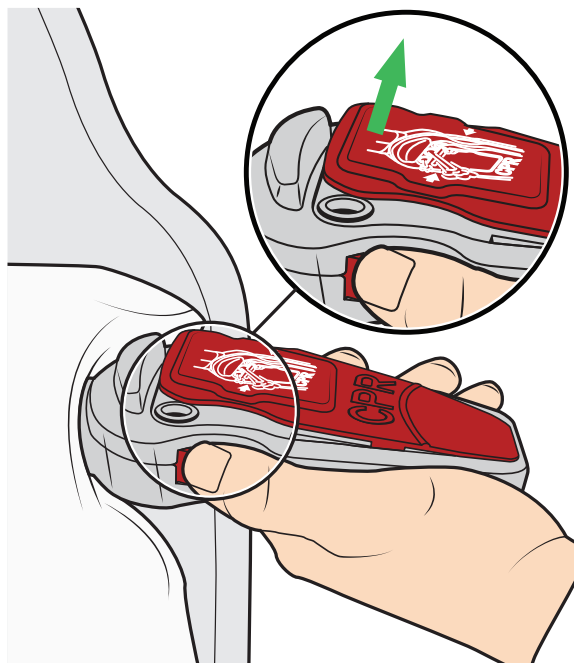


図 26

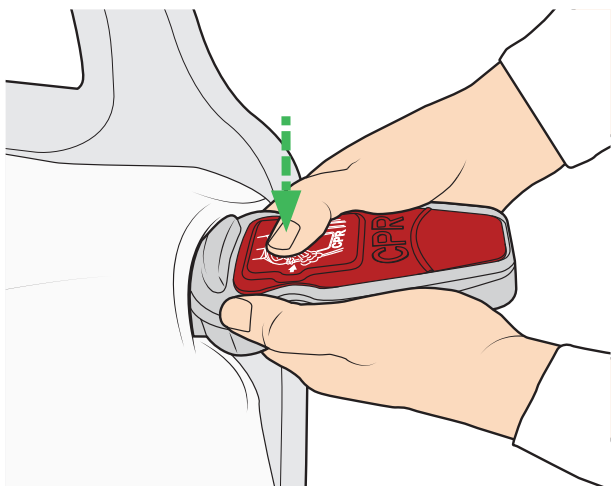


図 27

患者が心肺停止状態に陥った場合、CPR を使用してください：

CPR 急速収縮ユニットの起動

Auralis マットレスを収縮させて、CPR 急速収縮ユニットを起動します (2 ステップ)。

1. 両方の CPR リリースボタンを同時に押します。図 25 を参照してください
2. CPR 急速収縮ユニットの前面部分が開いていることを確認してください。図 26 を参照してください。CPR 急速収縮ユニットは、マットレス本体から 15 秒間空気を排出します。

CPR の無効化

CPR のオープン部分を所定の位置にカチッと止まるまで押してください。図 27 を参照してください。

Auralis システムの組み立て

Auralis 110 オーバーレイマットレス

(6 ステップ)

1.



警告

挟み込みによる死亡または重傷を避けるため、必ずベッドに合った正しい Auralis マットレスサイズを選択してください。

ベッドに合った正しい Auralis オーバーレイマットレスサイズを選択してください。患者の頭や身体が挟まれるような隙間がないことを確認してください。マットレスのサイズについてはセクション 52 ページの「Auralis マットレスおよびシートクッション測定値」をご覧ください。

2.



警告

褥瘡を避けるため、Auralis マットレスオーバーレイをベッドフレームへ直接取り付けないでください。

Auralis m マットレスオーバーレイを既存のマットレスの上に配置します。以下をご確認ください：

- CPR が頭部先端にある
 - チューブセットが足部先端にある
 - マットレスのセルが上を向いている。
- 図 28 を参照してください

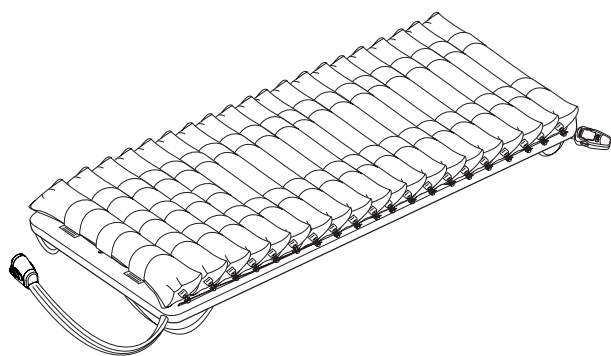


図 28

3.



警告

落下を避けるため、Auralis オーバーレイマットレスがベッドに固定されていることを確認してください。

4本の固定ストラップを既存マットレスの角下にしっかりと取り付けて、Auralis マットレスオーバーレイを固定します。図 29 を参照してください。

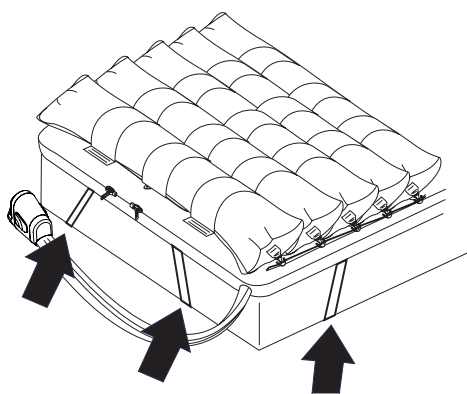


図 29

4.

注意

セルの損傷を避けるため、Auralis マットレスは常に保護上部カバーと共に使用してください。

取り外し可能なカバーを、Arjo のロゴが見えるように Auralis マットレスオーバーレイの上に置き、Auralis マットレスの足部先端に配置します。

次ページのステップへ続く。

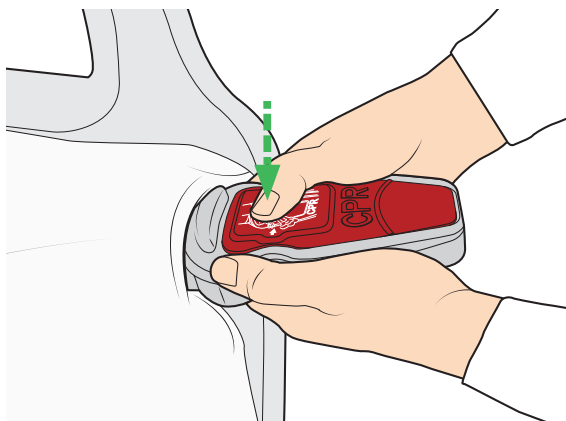


図 30

5. 頭部先端からカバーと Auralis マットレスオーバーレイの間のジッパーを閉めます。ジッパーの挟み込みに注意してください。ジッパーが完全に閉じていることを確認してください。
6. CPR が閉位置にあることを確認してください。(図 30 を参照してください。) CPR 急速収縮ユニットは、いつでもアクセスできるようにしてください。

Auralis 175、200、および Plus 交換マットレス

(9 ステップ + Auralis Plus のみの 2 ステップ)

1. いずれの既存のマットレスもベッドフレームから取り外します。
2. ベッドフレーム表面に鋭利な物体がはみ出していないことを確認してください。

3.

警告
挟み込みによる死亡または重傷を避けるため、必ずベッドに合った正しい Auralis マットレスサイズを選択してください。

ベッドに合った正しい Auralis マットレスサイズを選択してください。患者の頭や身体が挟まれるような隙間がないことを確認してください。マットレスのサイズについてはセクション 52 ページの「Auralis マットレスおよびシートクッション測定値」をご覧ください。

4. Auralis 交換マットレスをベッドフレームに配置します。以下をご確認ください：
 - CPR が頭部先端にある
 - チューブセットが正しく配置されていることを確認してください
 - マットレスのセルが上を向いている。
図 31 を参照してください

5.

警告
落下を避けるため、Auralis マットレスがベッドに固定されていることを確認してください。

8 本の固定ストラップをベッドフレームに取り付け、Auralis 交換マットレスを固定します。図 32 を参照してください。

ベッドが上昇または降下できる場合は、Auralis 交換マットレスはベッドの可動部分にのみ取り付けます。

6. 3 つの固定ストラップを頭部先端に取り付けます (Auralis Plus のみ)。

次ページのステップへ続く。

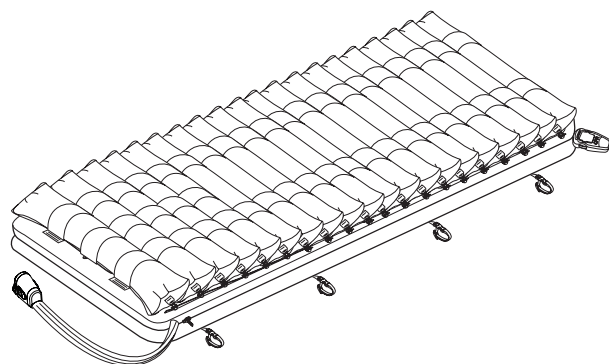


図 31

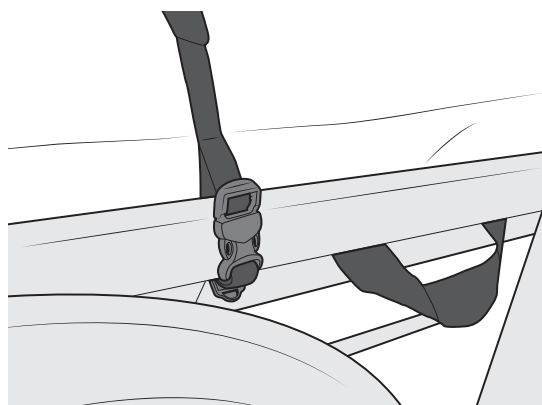


図 32

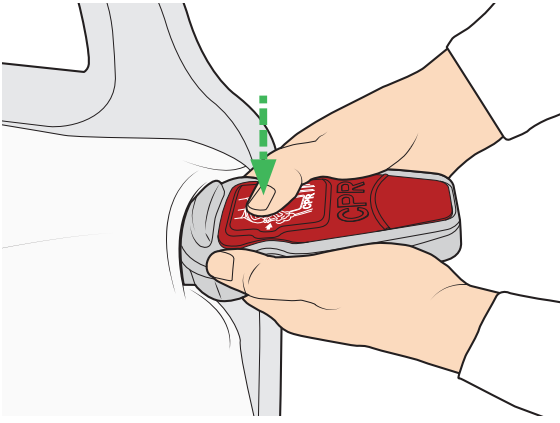


図 33

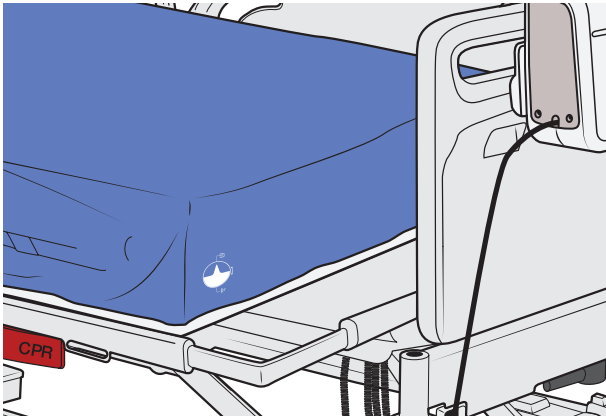


図 34

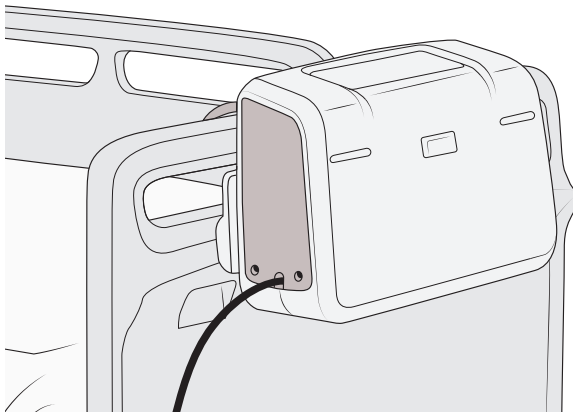


図 35

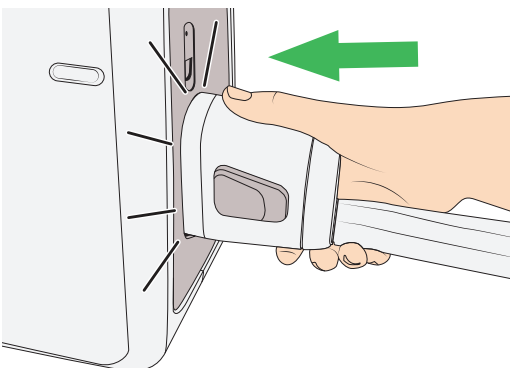


図 36

7.

注意

セルの損傷を避けるため、Auralis マットレスは常に保護上部カバーと共に使用してください。

取り外し可能なカバーを、Auralis マットレスの足部先端に Arjo のロゴが見えるように Auralis 交換マットレスの上に配置します。

8. 頭部先端からカバーと Auralis 交換マットレスの間のジッパーを閉めます。ジッパーの挟み込みに注意してください。ジッパーが完全に閉じていることを確認してください。
9. CPR が閉位置にあることを確認してください (図 33 を参照してください)。CPR 急速収縮ユニットは、いつでもアクセスできるようにしてください。
10. ボルスターがベッドの両側の延長部分に配置されていることを確認してください。(Auralis Plus マットレスのみ。)
11. ボルスターがベッドの両側の延長部分に配置されていることを確認してください。(Auralis Plus マットレスのみ。) 図 34 を参照してください。

Auralis ポンプ

(7 ステップ)

1. Auralis ポンプをベッドの足部先端に吊り下げます。図 35 を参照してください。ポンプが以下の状態でないことを確認してください。
 - 熱源に近い
 - 直射日光下
 - 何かで覆われている
2. チューブセットにねじれがないことを確認します。
3. チューブセットを Auralis ポンプに接続します。チューブセットが所定の位置にぴったり収まったことを確認します。図 36 を参照してください。

4.

警告

落下や怪我を避けるため、コードとチューブセットが正しく配置され、ベッドの可動部品や挟み込みの可能性がないことをご確認ください。

チューブセットおよび CPR 急速収縮ユニットの反対側にあるケーブル管理ポケットを開きます。

次ページのステップへ続く。



図 37

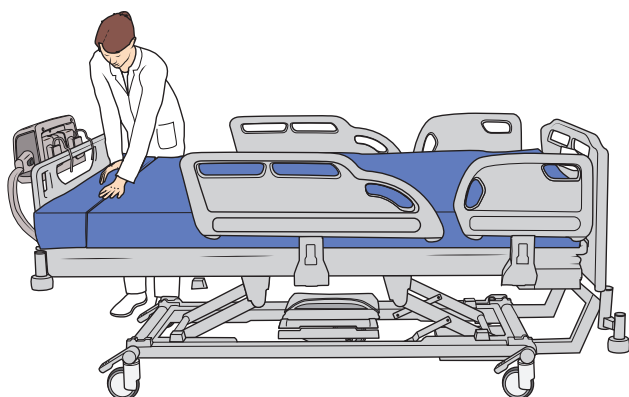


図 38

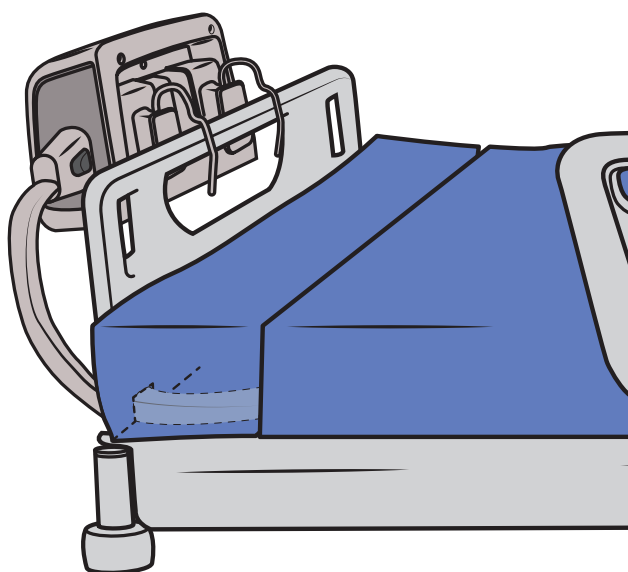


図 39

5. コードをケーブル管理ポケットに収納します。
6. コードフラップのスナップボタンを閉じます。図 37 を参照してください。
7. 電源コードを電源コンセントに接続します。

Auralis Plus マットレスエクステンション (アクセサリのみ)

(5 ステップ)

マットレスエクステンションは、ベッドフレームを完全に伸ばした状態における使用を前提としています。

注記

本製品説明書は、あくまでガイドラインであり、臨床経験や臨床判断に置き換わるものではありません。患者の状態に改善が見られない場合、専門家に助言を求めるようにしてください。

1. ベッドエクステンションの幅に適したサイズのマットレスエクステンションを選択してください。
2. 梱包材をすべて取り除きます。
3. マットレスエクステンションがカバーに取り付けられていることを確認してください。
4. マットレスとフットボードの間のスペースに、底部に最も近いジッパーが付いているマットレスエクステンションを置きます (図 38 を参照してください)。カバーを引き裂く恐れのある鋭利なものがないことを確認してください。
5. チューブセットがマットレスエクステンションのくぼみの下を通過することを確認します (図 39 を参照してください)。

注意

カバーなしでマットレスエクステンションを使用しないでください。フォームの生物学的汚染に対する保護バリアを提供します。

Auralis シートクッション

(7ステップ)

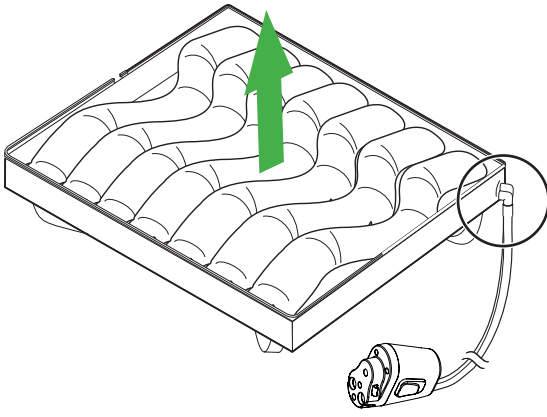


図 40

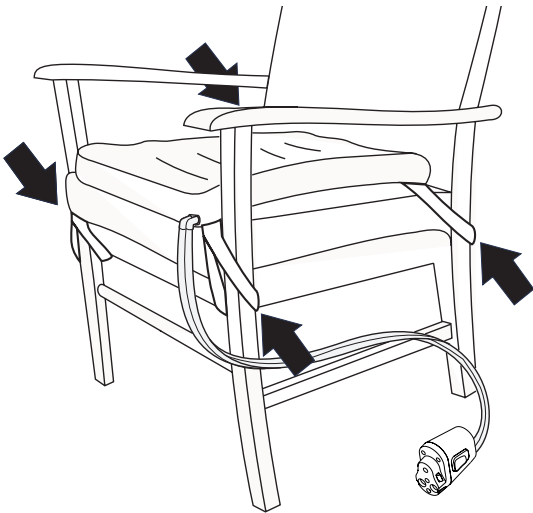


図 41

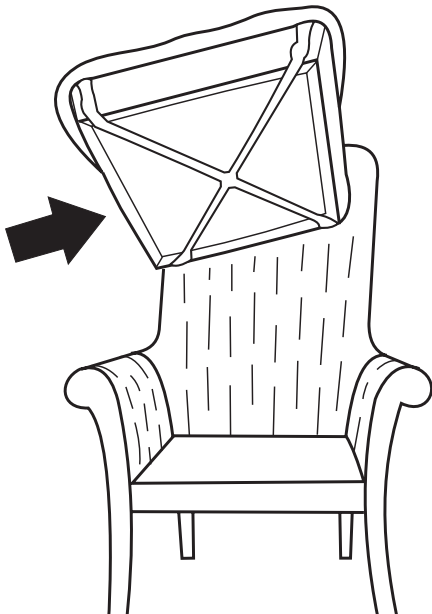


図 42

1.

注意

圧力が不適切に再分散されるのを避けるため、常に Auralis シートクッションを正しい方向に設置して使用してください。

注意

シートクッションを破裂させる恐れのある鋭利な物体が椅子の上がないことを確認してください。

Auralis シートクッションを椅子の座面上部に配置します。椅子の正面に向けて立っている位置から、必ず以下であることを確認してください。

- セルが上を向いている。
- チューブセットがクッションの前方右隅にあります。
- シートクッションの内のセルが椅子全体に水平に置かれ、「V」形状の先端が前を向いている。図 40 を参照してください。

2.

注意

圧力が不適切に再配分されるのを避けるため、Auralis シートクッションをフォームクッションなしで使用しないでください。

以下の説明に従って、Auralis シートクッションを椅子に固定します。

- **オープンサイドチェア**
椅子のフレームに固定ストラップを取り付けます。図 41 を参照してください。
- **取り外し可能なシートクッションが付いている椅子**
取り外し可能なシートクッションの下に横向きに固定ストラップを取り付けます。図 42 を参照してください。

次のページへ続く

注記

取り外し不可能なシートクッションが付いているクローズドサイド構造の椅子の場合、安全性はシートクッションのノンスリップベース材質のみに依存します。

- **取り外し不可能なシートクッションが付いている椅子**

椅子の上に Auralis クッションを置きます。

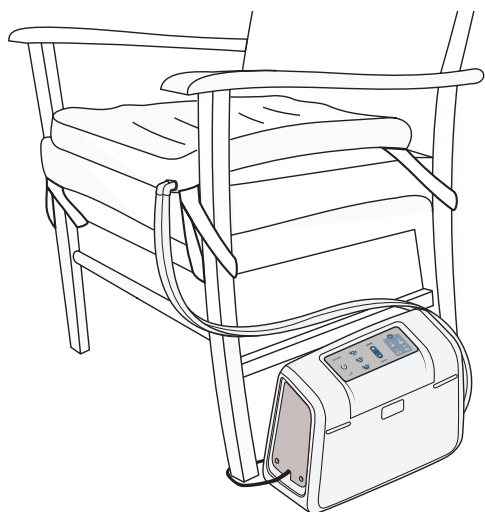


図 43

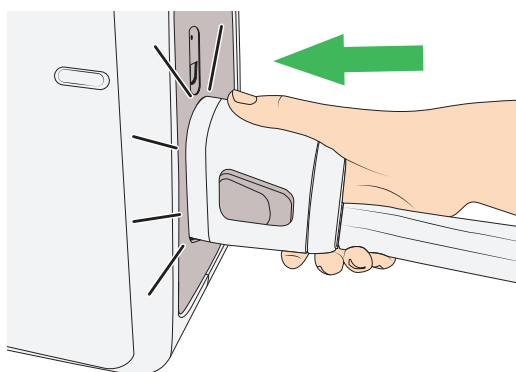


図 44

3.

注意

セルの損傷を避けるため、Auralis シートクッションは常に保護上部カバーと共に使用してください。

保護カバーを Auralis シートクッションの上に置きます。Arjo のロゴがシートの前面に見えることを確認してください。

4. Auralis シートクッションとカバーの間のジッパーを閉めます。ジッパーの挟み込みに注意してください。ジッパーが完全に閉じていることを確認してください。

5.

警告

落下を避けるため、つまづく危険のないように Auralis ポンプ、ケーブル、チューブセットを配置してください。

Auralis ポンプを椅子の横の床に置きます。以下の手順を確実に行ってください。

- ケーブルが椅子の下にある。
- チューブセットが椅子の脇に沿って配置されている。

図 43 を参照してください

6. チューブセットにねじれがないことを確認します。
7. チューブセットを Auralis ポンプに接続します。チューブセットが所定の位置にぴったり収まったことを確認します。図 44 を参照してください。

Auralis システムの始動

Auralis マットレスまたは Auralis シートクッションシステムのご使用前に、以下を確認してください。

- Auralis システムはセクション 26 ページの「Auralis システムの組み立て」に従って正しく設置してください。
- マットレスの CPR は閉位置にあります。

Auralis システムの起動

(5 ステップ)

Auralis ポンプの電源コードが電源コンセントと接続されると、Auralis ポンプから起動音が鳴って 10 秒間自己診断チェックが実行されます。自己診断チェックが終了すると、Auralis ポンプからビープ音が 2 回鳴り、ポンプが使用できる状態になります。

1. コントロールパネル上にある運転 / スタンバイボタンを 2 秒間押します。
以下のインジケータが表示されます。
 - 運転 / スタンバイ
 - ウェイトインジケータ
 - 交互圧力モードボタン
 - コンフォートコントロールインジケータ
 - バッテリー充電インジケータ
 - ポンプ前面にある緑色のインジケータ図 45 を参照してください

約 15 分後にウェイトインジケータが消灯すると、Auralis マットレスは完全に膨らんでいます。

Auralis Plus マットレスが完全に膨らむまでに約 17 分かかります。

2. Auralis マットレスが完全に膨らんだ後、ベッドシートを取り付ける場合は、シートを軽く挟み込みます。CPR は、ベッドの頭部先端でしっかり見えることを確認してください。
3. 患者の頭が頭部先端に、足が足部先端になるようにして Auralis マットレスに患者を移動します。
図 46 を参照してください。

注記

Auralis ポンプはマットレス内の圧力を自動調節して患者を支えます。

次ページのステップへ続く。

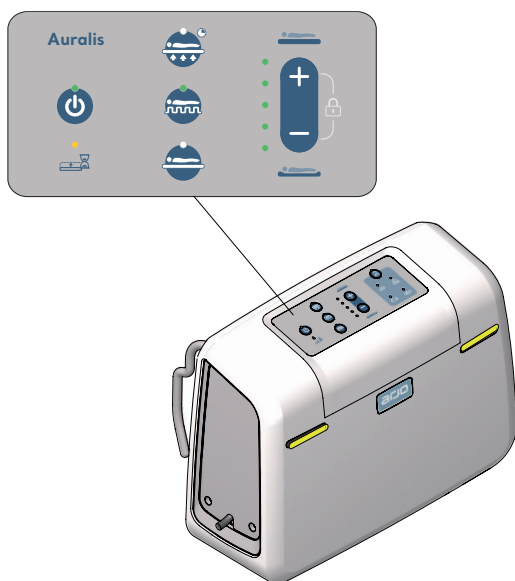


図 45

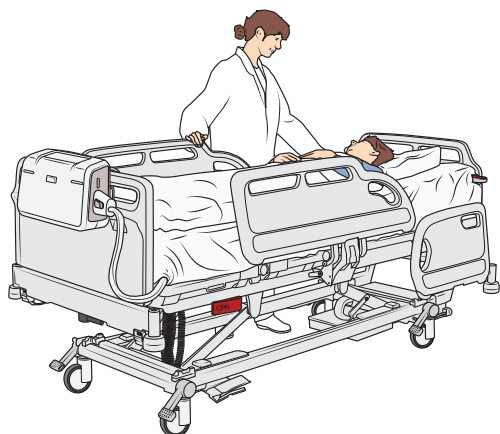


図 46

4. 交互圧力モードはデフォルトで設定されています。必要に応じて、別モードを選択してください (34 ページの「モードの選択」を参照)：
 - オートファームモード：看護環境用
 - リアクティブ CLP モード：常時低圧用
 - 搬送モード：患者移送用
5. 患者の快適性のため、コンフォートコントロールボタンを使用して圧力を調節します。快適性レベルはライトで示されます。

Auralis 110、175、200 および Plus マットレス

デフォルトの快適性設定は、中間です。圧力は、デフォルト設定よりも 2 段階高くまたは低く調整できます。

図 47 を参照してください。

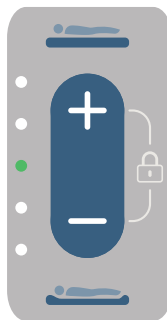


図 47

警告

患者が不快感を感じたり、怪我をしないようにするために、360 kg (793 ポンド) を超える患者のコンフォートレベルは常に最大に設定してください。(Auralis Plus のみ。)

停電時には、Auralis ポンプはバッテリーモードに入ります。満充電の場合、Auralis ポンプは最低 3 時間の作動運転します。

警告

本製品の使用中に患者が目の届かない状態で一人きりになることがある場合、転倒と怪我の危険性は病院や地域のプロトコルに則って臨床的に評価する必要があります。

モードの選択



図 48

オートファームモード

起動 (1 ステップ)

オートファームモード (図 48 を参照してください) は Auralis マットレスのみ利用できます。

- オートファームボタンを 2 秒間押します。

オートファームモードインジケータとコンフォートコントロールインジケータが点滅を開始し、マットレスセルがオートファーム圧まで膨らみ始めます。オートファームインジケータとコンフォートコントロールインジケータが点灯になると、マットレスはオートファーム圧に達しています。

オートファームモードは 15 分間続きます。延長されていない場合、ポンプはデフォルトによって前のモードに戻ります。

オートファームモードの最後の 1 分間は、コンフォートコントロールインジケータがすべて点滅し、アラーム音が鳴ります。このアラーム表示中に、オートファームモードを延長することができます。

延長 (1 ステップ)

- オートファーム ボタンを押して、オートファームモードを 5 分延長します。

オートファームは最大 3 回 (15 分間) まで延長することが可能です。さらに延長する場合は、ステップ 1 を繰り返してください。

延長されていない場合、Auralis ポンプはデフォルトによって前のモードに戻ります。

無効にする

オートファームモードを無効にするには、オートファームボタンを 2 秒間長押しするか、任意の別モードを選択します。

交互モード、デフォルト設定

起動 (1 ステップ)

- 交互モードボタン (図 49 を参照してください) を押すと、交互モードインジケータが表示されます。

Auralis マットレスは交互モードになります。このモードでは、隣接するセルは 10 分のサイクルで膨張収縮します。

無効にする

交互モードを無効にするには、リアクティブ CLP モードまたはオートファームモードのいずれかを選択します。治療の終了時には、Auralis マットレスを取り外し、Auralis ポンプをオフにします。

次ページへ続く



図 49

リアクティブ CLP モード

作動させる

リアクティブ CLP (図 50 を参照してください) ボタンを 2 秒間押します。リアクティブ CLP モードインジケータが表示されます。

無効にする

リアクティブ CLP モードを無効にするには、交互モードまたはオートファームモードのいずれかを選択します。治療の終了時には、Auralis マットレスを取り外し、Auralis ポンプをオフにします。

ロックアウトモード

ロック

- コンフォートコントロールのプラス (+) ボタンとコンフォートコントロールのマイナス (-) ボタンを同時に 2 秒以上押し続けます。

上部および下部のコンフォートコントロールインジケータが同時に点滅します。図 51 を参照してください。ポンプはロックアウトモードになり、ロックが解除されるまでこれ以上の入力を受け入れません。

ロックアウトモードからのロック解除

- コンフォートコントロールのプラス (+) ボタンとコンフォートコントロールのマイナス (-) ボタンを同時に 2 秒以上押し続けます。

上部および下部のコンフォートコントロールインジケータが同時に点滅します。ポンプのロックが解除されました。



図 50



図 51

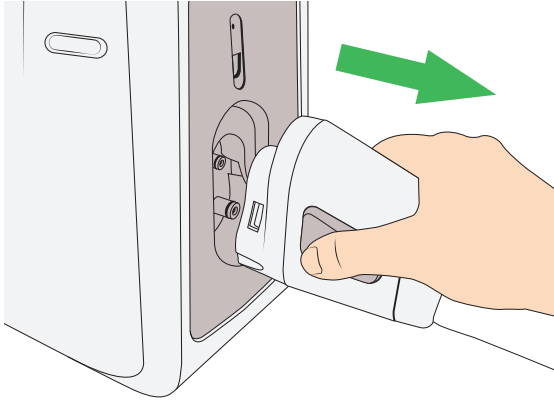


図 52

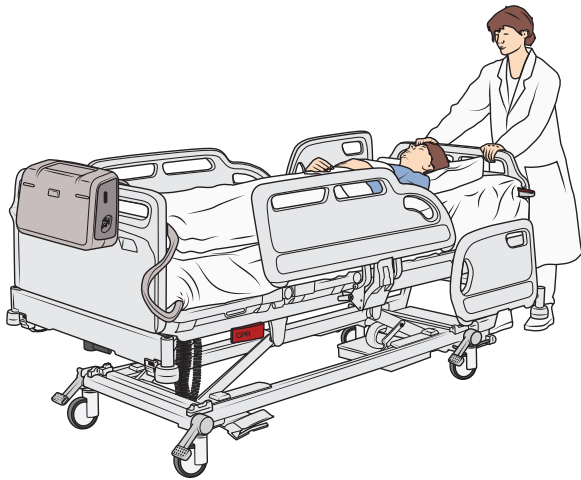


図 53

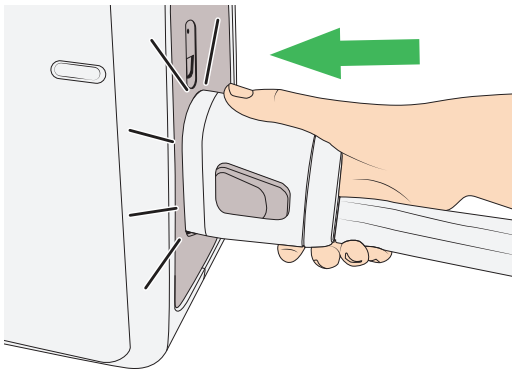


図 54

搬送モード

起動 (1 ステップ)

搬送モードを作動させる場合は、使用中のチューブセットを外します。

- コネクターのサイドボタンを同時に押し、チューブセットを取り外します。
図 52 を参照してください。

使用中にチューブセットが Auralis ポンプから外れても、Auralis マットレスは収縮することなく患者を 12 時間支えます。

図 53 を参照してください。



警告

怪我を避けるために、ベッドを移動する場合は電源から電源ケーブルを外してください。

注意

コードの絡まり防止のため、Auralis ポンプが搬送モード中は、チューブセットコネクタがしっかりと収納されていることを確認してください

注記

Auralis シートクッションに搬送モードはありません。

無効にする

搬送モードを無効にする場合は、チューブセットを接続します。Auralis ポンプはデフォルトによって前のモードに戻ります。図 54 を参照してください。

次ページへ続く

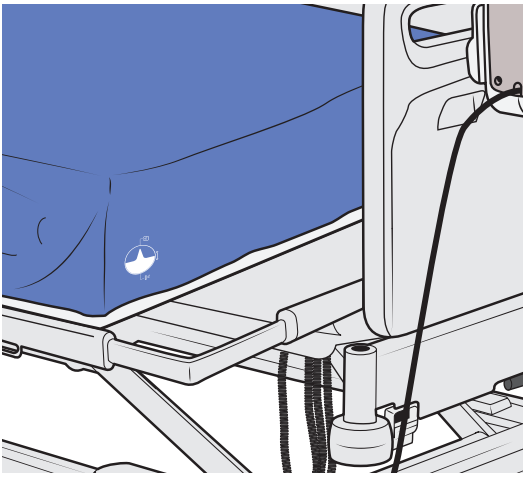


図 55

ボルスター収縮、Auralis Plus のみ (4 ステップ)

ボルスターを収縮させて、狭い開口部からの搬送を容易にすることができます。

1. マットレスの下部にあるバルブ記号を確認します。図 55 を参照してください。
2. ボルスターのバルブ (バルブ記号の下) を時計回りに最後まで回します。図 56 を参照してください。
3. 必要に応じて、他のボルスターで繰り返します。
4. 5 分間収縮させます。

注記

ベッドフレーム幅を縮小する前に、ボルスターから空気を抜いてください。

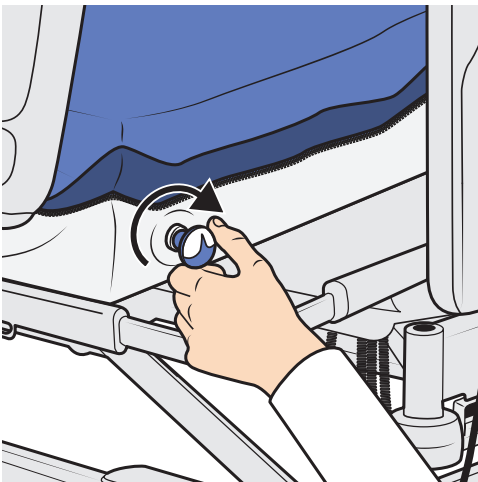


図 56

ボルスター膨張、Auralis Plus のみ (4 ステップ)

1.



警告

患者の不快感や怪我を避けるために、ボルスターを膨らませる前に搬送モードを無効にしてください。

マットレスの下部にあるバルブ記号を確認します。図 55 を参照してください

2. ボルスターのバルブ (バルブ記号の下) を反時計回りに最後まで回します。図 57 を参照してください。
3. 必要に応じて、他のボルスターも同様に行ってください。
4. 8 分間膨張させます。

注記

ボルスターを膨らませる前に、ベッドフレームの幅を広げてください。

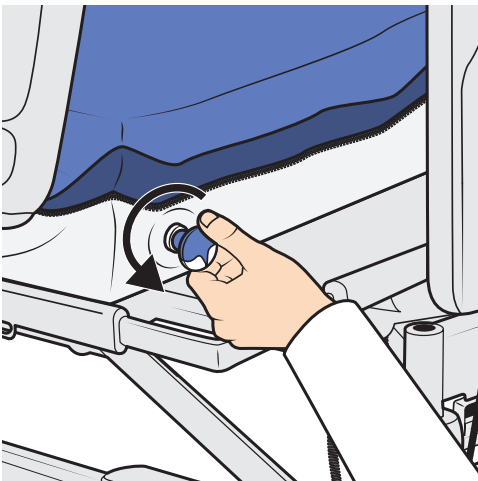


図 57

Auralis システムの電源オフと保管

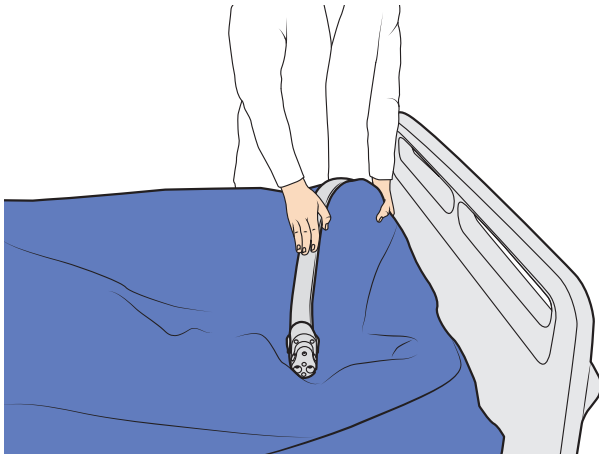


図 58

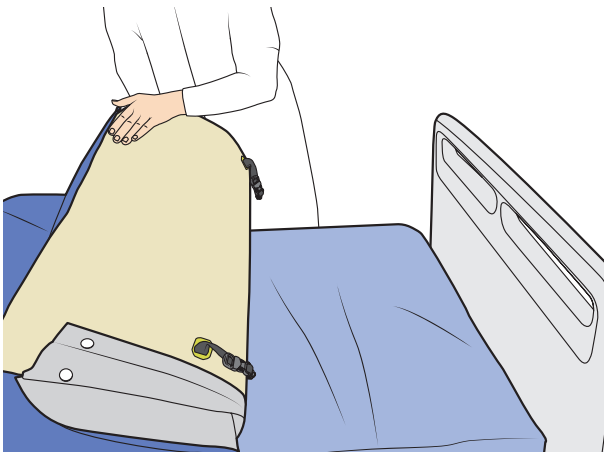


図 59



図 60

Auralis ポンプの電源をオフにする

(3 ステップ)

1. 運転 / スタンバイ ボタンを 2 秒間押します。Auralis ポンプはスタンバイモードになります。
2. 電源コードを電源コンセントから抜いてください。
3. Auralis ポンプの電源を完全にオフにするには、ビープ音が 2 回聞こえるまで運転 / スタンバイ ボタンを 4 秒間押します。

Auralis マットレスの収縮と保管

(6 ステップ)

警告

交差・二次汚染を避けるため、各患者に使用後は必ず Auralis システムを清掃および消毒してください。

1. セクション 40 ページの「クリーニングと消毒の手順」に従って、マットレスを清拭及び消毒します。
2. CPR を作動させ、Auralis マットレスを収縮させます。
3. チューブセットを、足部先端と並列になるようにして Auralis マットレスの上に置きます。図 58 を参照してください。
4. Auralis マットレスをしっかり転がし、収縮させてバッグに収めます。図 59 を参照してください。足部先端から始め、頭部先端の CPR まで続けます。Auralis Plus の場合のみ、ロールする前にボルスターを収縮させます。
5. Auralis マットレスを保護バッグに入れます。図 60 を参照してください。保護バッグ内部は、乾燥し、清潔で、汚れや鋭利なものがないようにします。
6. 保管要件に従って、Auralis マットレスを指定場所に保管します。52 ページの「輸送と保管条件」を参照してください。

Auralis シートクッションの収縮と保管

(5 ステップ)

1. 40 ページの「クリーニングと消毒の手順」に従って、Auralis シートクッションを清掃及び消毒してください。
2. Auralis シートクッションを裏返します。
3. 2つのバルブの真ん中を押し、Auralis シートクッションを収縮させます。図 61 を参照してください。
4. Auralis シートクッションを保護バッグに入れます。保護バッグ内部は、乾燥し、清潔で、汚れや鋭利なものがないようにします。
5. 保管要件に従って、Auralis シートクッションを指定場所に保管します。52 ページの「輸送と保管条件」を参照してください。

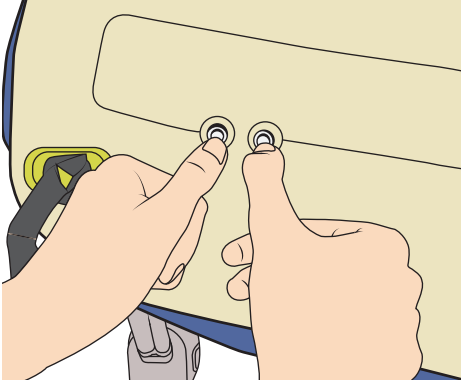


図 61

Auralis ポンプの保管

(3 ステップ)

1. セクション 40 ページの「クリーニングと消毒の手順」に従って、Auralis ポンプを清掃及び消毒します。
2. 電源コードを吊り下げフックに巻きます。図 62 を参照してください。
3. 保管要件に従って、Auralis ポンプを指定場所に保管します。52 ページの「輸送と保管条件」を参照してください。

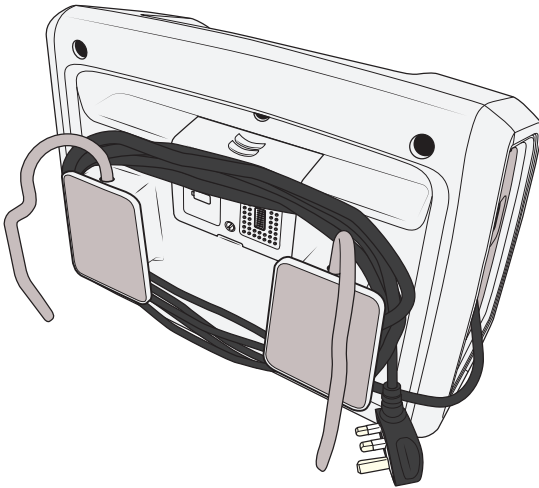


図 62

クリーニングと消毒の手順

あらゆる再利用可能な医療機器で実施している方法と同様に、Auralis システムは各患者の使用後あるいは使用中定期的に、清掃及び消毒してください。

製品の清掃と消毒に関するご質問は、Arjo までご連絡ください。使用する消毒液の安全データシート (SDS) を必ずご確認ください。



警告

消毒液の取扱説明書と製品安全データシートを必ずお読みください。



警告

感電を避けるため、クリーニングと点検の実施前に、必ず Auralis ポンプを電源から外してください。



警告

交差・二次感染を防ぐため、常に本取扱説明書の消毒手順に従ってください。



警告

目や皮膚の炎症を避けるため、決して患者が居る場所で消毒をしないでください。

注意

製品の損傷を避けるには：

- 汚染除去作業の間、フェノール系溶剤、研磨剤や研磨パッドを使用しないでください。表面コーティングを破損させます。
- ポンプに直接洗浄溶液を噴霧しないでください。
- システムのいかなる部分もオートクレーブにかけたり沸騰させたりしないでください。電気部品に水をかけないでください。

清掃 / 消毒に必要なもの

- 消毒液（70 % アルコール溶液または塩素溶液い
ずれか最大 10,000 ppm）のスプレーボトル
- 中性洗剤（洗剤液）
- 水入りスプレーボトル
- 清潔な布

清掃と消毒

(28 ステップ)

各患者の使用後は適正な清掃と消毒の手順を実施するため、これらのステップに常に従ってください。

準備

1. Auralis ポンプをマットレス / シートクッションから外します。
2. Auralis ポンプユニットの電源を切り、Auralis ポンプを電源から外します。

Auralis ポンプの清掃

3. 清潔な布と洗剤液を使用して、視認可能な表面部、表示インジケータ部分、ラベル、吊り下げブラケットを拭き取り、Auralis ポンプに付いた沈着物や目に見える汚れを取り除きます。
4. 汚れが残っている部分は、清掃および消毒プロセスの続行前に洗剤液で洗い落してください。
5. 水と新しい布を使って洗剤液の痕跡をすべて拭き取り、乾いた布で Auralis ポンプから余分な水分を取り除きます。

Auralis ポンプの消毒

6. 乾いた布に消毒液を噴霧し、Auralis ポンプすべての部分に消毒液を広げます。
7. 消毒時間は、消毒液メーカーの指示に従ってください。
8. Auralis ポンプの消毒後、水と新しい布を使用して Auralis ポンプから消毒液の痕跡をすべて拭き取ります。
9. 乾いた布でふき取り、余分な湿気を取り除きます。（707 との整合性）
10. Auralis ポンプは、再使用する前に空気乾燥させてください。

Auralis マットレス / シートクッションの清掃

11. Auralis マットレス / Auralis シートクッション上部カバーの外側部分すべてに洗剤液を噴霧し、清潔な布で汚れを拭き取ります

次ページのステップへ続く。

12. 汚れが残っている部分は、清掃および消毒プロセスの続行前に洗浄液で洗い落してください。
13. 水と新しい布を使って洗浄液の痕跡をすべて拭き取り、乾いた布で余分な水分を取り除きます。
14. Auralis マットレス /Auralis シートクッションの内側を清掃する必要がある場合は、上部カバーのジッパーを開け、内部部品にアクセスしてください。
15. 乾いた布に洗浄液を噴霧し、Auralis マットレス / Auralis シートクッションのセル、ボトムカバー、ストラップ（マットレスのみ）を拭き取ります。拭き取り中に、溶液がすべてのセルに完全に行き渡ることを確認してください。
16. 水と新しい布を使って洗浄液の痕跡をすべて拭き取り、乾いた布で内部部品から余分な水分を取り除きます。

Auralis マットレス / シートクッションの消毒

17. 乾いた布に消毒液を噴霧し、Auralis マットレス / Auralis シートクッション上部カバーの外側部分すべてに消毒液を広げます。
18. 消毒時間は、消毒液メーカーの指示に従ってください。
19. 上部カバーの消毒後、水と新しい布を使用して上部カバーから消毒液をすべて拭き取ります。
20. 乾いた布でふき取り、残りの湿気を取り除きます。
21. Auralis マットレス / Auralis シートクッションの上部カバーを空気乾燥させます。
22. Auralis マットレス /Auralis シートクッションの内側を消毒する必要がある場合は、上部カバーのジッパーを開け、内部部品にアクセスしてください。
23. 乾いた布に消毒液を噴霧し、内部部品に消毒液を広げます。
24. 消毒時間は、消毒液メーカーの指示に従ってください。
25. 内部コンポーネントの消毒後、水と新しい布を使用して部品から消毒液の痕跡をすべて拭き取ります。

次ページのステップへ続く。

26. 乾いた布でふき取り、残りの湿気を取り除きます。
27. マットレスの上部カバーを再取り付けする前に、内部部品を空気乾燥させてください。
28. Auralis マットレス / シートクッションのストラップとベースも、必要に応じて上記と同じ方法で清掃できます。クリーニングの前にストラップを外してアクセスしやすくします。

ケアと予防保守

Auralis システムは通常使用により消耗します。仕様を維持するために以下の措置を講じてください。

警告

傷害事故をもたらす不具合を避けるため、定期的な点検を実施し、推奨保守スケジュールに従ってください。

警告

電気機器は誤った使用方法で、より危険なものになる可能性があります。Auralis ポンプ、Auralis マットレス、Auralis シートクッションの内側に、ユーザーが交換、修理できる部品はありません。Auralis ポンプのケースは、有資格サービス担当者のみが取り外してください。本製品を改造しないでください。

警告

怪我を避け、製品を安全に使用するため、正しい工具、部品および手順の知識を有する、有資格サービス担当者により適切な頻度で保守作業を実施しなければなりません。有資格サービス担当者は、本製品の研修履歴を記録する必要があります。

耐用年数

Auralis ポンプの耐用年数は7年です。Auralis ポンプの状態を維持するため、Arjo によって推奨されているスケジュールに従って Auralis ポンプの定期サービスを実施してください。

ケアと予防保守計画 介助者の責務措置 / チェック項目	毎回の使用前 または毎週 (長期使用の場合)	患者の 使用後	24 か月 使用した後
清掃と消毒		X	
Auralis ポンプ			
コントロールパネルの目視点検	X		
電気システムの接続部や電源コードを目視点検	X		
コネクターソケットを目視点検	X		
Auralis マットレスおよびシートクッション			
チューブセットとコネクターを目視点検	X		
上部カバーを目視点検	X		
すべてのジッパーを目視点検		X	
固定ストラップを目視点検		X	
ループストラップとヒールガード™ セルストラップ をすべて目視点検		X	
セルフックをすべて目視点検		X	
Auralis システム			
すべてのラベルの目視点検		X	
Auralis システムの全機能テストを実施します	X		
有資格サービス担当者のみが行う点検。			X
Auralis Plus マットレスエクステンション (アクセサリのみ)			
上部カバーを目視点検	X		
フォームコアを目視点検	X		
すべてのラベルの目視点検		X	

介助者の責務措置 - 毎回の使用前または毎週（長期使用の場合）

Auralis ポンプに損傷がないか、目視点検して下さい。

- コントロールパネルがしっかり固定されていること、破損していないこと、見やすいことを確認します。
- あらゆる電氣的な接続部や電源ケーブルに過剰な消耗や損傷の兆候がないか点検します。
- コネクターソケットに過剰な消耗や損傷の兆候がないか点検します。

Auralis マットレスと Auralis シートクッションに損傷がないか目視点検します

- チューブに損傷がなく、コネクターに明らかな亀裂や破損がないことを確認します。
- 上部カバーを外し、消耗や損傷の兆候がないか確認します。

Auralis マットレスと Auralis マットレスエクステンションに損傷がないか目視点検します

- 上部カバーを外し、消耗や損傷の兆候がないか確認します。
- フォームコアに損傷、汚れ、シミがないか検査します。

破損あるいは不足している部品がある場合は、本製品を使用しないでください。

Auralis システムの全機能テスト実施（6 ステップ）

1. チューブセットを Auralis ポンプに接続します。チューブセットが所定の位置にぴったり収まったことを確認します。
2. 電源コードを電源コンセントに接続します。Auralis ポンプから起動音が鳴って、10 秒間自己診断チェックが実行されます。自己診断チェックが終了すると、Auralis ポンプからピープ音が 2 回鳴り、ポンプが使用できる状態になります。
3. 運転 / スタンバイボタンを押して、Auralis ポンプを始動します。

4. アラーム機能を確認する場合は、システムの電源が入っている間にポンプからチューブセットを外します。30 秒後、ポンプ前面にある 2 つの緑色アラームパネルインジケーター、ならびに低圧インジケーターが共に黄色になり、アラーム音が鳴ります。
5. チューブセットを再度ポンプに接続し、アラームを無効にします。
6. 機能テストが完了しない場合は、有資格サービス担当者に連絡してください。

介助者の責務措置 - 各患者の使用後

清掃と消毒

- Auralis システムは各患者の使用後に清拭および消毒する必要があります。セクション 40 ページの「クリーニングと消毒の手順」をご参照ください。

Auralis マットレスと Auralis シートクッションに損傷がないか目視点検します

- すべての縫い目とジッパーに損傷やゆるみがないことを確認します。ジッパーのつまみが紛失していないことを確認します。
- 固定ストラップが固定され、破損していないことを確認します。
- セルフアスナー、ループストラップ、Heelguard™ セルストラップがすべて Auralis マットレスベースに正常に接続され、緩みや損傷がないことをご確認ください。
- セルフックがすべて取り付けられていることを確認します。
図 63 を参照してください。

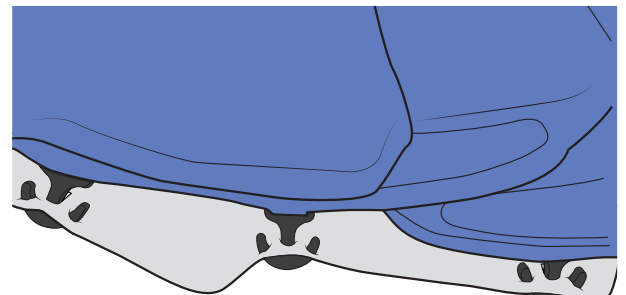


図 63

破損あるいは不足している部品がある場合は、本製品を使用しないでください。

すべてのラベルの目視点検

セクション 54 ページのラベルおよび Auralis マットレス、Auralis シートクッション、Auralis マットレスエクステンション（アクセサリーのみ）のラベルに従って、Auralis システムにすべてのラベルが貼られていることを確認します。56 ページの Auralis マットレス、Auralis シートクッション、Auralis マットレスエクステンションのラベルラベルが紛失している場合は、Arjo までご連絡ください。





有資格担当者のみが実施する 24 ヶ月後の使用点検

Auralis システムは、保守および修理取扱説明書に従って 24 ヶ月後に保守点検する必要があります。

トラブルシューティングとアラーム

次の表に、アラームのトラブルシューティングガイドを示します。



待機、停電、およびサービス準備完了のインジケータは情報信号です。他のすべてのアラームは低優先度アラームです。

インジケータ	想定される原因	ソリューション	アラーム作動遅延
待機 	マットレスが膨張中です。 これは障害を示すものではありません（ただし、低圧アラームがオフ時）。	マットレスが動作圧力に達するのを待ちます（通常、マットレスの場合は 15 分、シートクッションの場合は 5 分。膨張状態によって異なります）。	250 ms
低圧 (LOW PRESSURE)  および 待機 	<ol style="list-style-type: none"> 1. Auralis ポンプは Auralis マットレスまたは Auralis シートクッションを膨張させています。 2. Auralis マットレスの CPR が閉じていません。 3. Auralis シートクッションのバルブが閉じていません。 4. チューブセットが正しく接続されていません。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 動作圧力に到達すると、両方のインジケータが消灯します。 2. CPR を閉じます。 3. シートクッションのバルブを確認します。 4. チューブセットコネクタが Auralis ポンプに正しく接続されていることを確認してください - 正しく接続されるとカチッという音が聞こえます。 	マットレスの場合、最大 20 分 シートクッションの場合、最大 5 分
低圧 (LOW PRESSURE) 	<ol style="list-style-type: none"> 1. チューブセットが正しく接続されていません。 2. Auralis マットレスの CPR が閉じていません。 3. Auralis シートクッションのバルブが閉じていません。 4. システムに空気漏れがあります。 5. ボルスターを再膨張させている間、システムは最適な圧力以下になります(Auralis Plus のみ)。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. チューブセットコネクタが Auralis ポンプに正しく接続されていることを確認してください - 正しく接続されるとカチッという音が聞こえます。 2. CPR を閉じます。 3. Auralis シートクッションのバルブを確認します。 4. 有資格サービス担当者に連絡してください。 5. ボルスターが完全に膨らむまで待ちます。 	交互モードで最大 30 分 リアクティブ CLP モードで最大 20 分 コネクタを取り外してから 30 秒 起動時にコネクタが配置されていない場合は、即時

次ページへ続く。

インジケーター	想定される原因	ソリューション	アラーム作動遅延
電力障害 	電源障害。	電力が供給されているかどうか確認し、電源コードを点検してください。 満充電されたバッテリーで、Auralis ポンプは最低 3 時間作動します。	2 秒未満
低バッテリー (BATTERY LOW) 	バッテリーの残量が 1 時間以内です。	主電源でバッテリーを充電して Auralis ポンプを運転してください。	500 ms
サービス準備完了  および フロントパネルアラームが緑色で表示される	Auralis ポンプはサービスが必要です。	シリアル番号を引用して、有資格サービス担当者に連絡してください。 Auralis ポンプ、マットレス、シートクッションのシリアル番号を確認するには、セクション 54 ページの「ラベル」と 56 ページの「Auralis マットレス、Auralis シートクッション、Auralis マットレスエクステンションのラベル」をご参照ください。	サービスタイマーの期限切れ直後
内部不具合  および フロントパネルアラームが黄色で表示される	Auralis ポンプは内部不具合を検知しました。	Auralis ポンプのスイッチを切り、再スタートします。アラームが続く場合は、有資格サービス担当者に連絡してください。	最大 22 分
オートファーム (AUTOFIRM) が作動しません 	<ol style="list-style-type: none"> Auralis シートクッションが使用中です。 Auralis マットレスが使用中です。 	<ol style="list-style-type: none"> Auralis シートクッションの接続を外します。オートファームモードは Auralis マットレスとの使用でのみ利用できます。 オートファームモードを作動させる場合は、オートファームボタンを 2 秒間長押しします。 	適用せず

次ページへ続く。

インジケータ	想定される原因	ソリューション	アラーム作動遅延
<p>ロックアウトモード</p> 	<p>ポンプはロックアウトモードになっています。</p>	<p>コンフォートコントロールのプラス (+) ボタンとコンフォートコントロールのマイナス (-) ボタンを同時に 2 秒以上押し続けます。</p> <p>上部および下部のコンフォートコントロールインジケータが同時に点滅します。</p> <p>ポンプのロックが解除されました。</p>	<p>適用せず</p>
<p>温度上昇</p> 	<p>Auralis ポンプは温度範囲外で動作しており、輸送モードに入りました。</p> <p>アラーム音が聞こえ、Auralis ポンプが遮断される前にインジケータが黄色になります。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. Auralis ポンプの電源をオフにします。 2. 電源コードを抜きます。 3. Auralis ポンプの位置を確認してください： <ul style="list-style-type: none"> • 熱源に近いですか？ • 日光が直接当たりませんか？ • 布などで覆われてしまっていますか？ 4. 上記のいずれかに該当する場合は、Auralis ポンプを移動するか覆っているものを外してください。 5. 5分待ちます。 6. 電源コードを電源に再接続します。 7. Auralis ポンプの電源を入れます。 8. それでもアラームが続く場合は、有資格サービス担当者に連絡してください。 	<p>10 秒</p>

技術仕様

AURALIS ポンプ	
モデル：	Auralis
ケース材質：	PC ABS
部品番号：	636xxx (xxx は主電源リードの種類によって決定されます。実際の部品番号は後部ラベルを参照してください)
サイズ：	385 x 290 x 170 mm (15.2 x 11.4 x 6.7 インチ)
本体重量：	5 kg (11 lb)
プラグヒューズ定格：	5A ~ BS1362 (英国のみ)
電気ショックに対する保護等級：	接続電源：クラス 2、アースなしの二重絶縁 BF タイプ
液体侵入に対する保護等級：	IP21 直径 12.5 mm 以上の固形物や垂直に落下する水滴の侵入を防止。
操作モード：	連続
交互圧力モードサイクル時間：	10 分 (交互圧力 10 分、 オートファーム 15 ~ 30 分、CLP 連続。)

バッテリー	
バッテリータイプ：	リチウムイオン、取り外し不可
電圧：	14.4 V
容量：	2200 mAh
バッテリー寿命：	300 サイクル (最小)

電気仕様	
供給電圧：	100-230 V
供給周波数：	50-60 Hz
入力電力	4-58 VA

操作条件	
温度 (周囲)：	5 °C ~ 40 °C (41 °F ~ 104 °F)
相対湿度範囲：	15 % ~ 90 % (結露なし)
大気圧：	700 hPa ~ 1060 hPa
Auralis ポンプが動作温度範囲外の条件で保管されている場合、時間を取って通常の動作温度環境に慣らしてからご使用ください。Auralis ポンプが -20 °C または 60 °C で保管されている場合は、最低 8 時間必要です。	

輸送と保管条件	
短期（最大 30 日間）：	
温度（周囲）	-20 °C ~ 60 °C (-4 °F ~ 140 °F)
相対湿度	0 % ~ 95 %
長期（30 日以上）：	
温度（周囲）	0 °C ~ 40 °C (32 °F ~ 104 °F)
相対湿度	0% ~ 95%（結露なし）
注意 Auralis システムへの損傷を避けるには： <ul style="list-style-type: none"> • Auralis システムを直射日光の当る場所に保管しないでください。 • Auralis ポンプと Auralis マットレスは付属の保護バッグに入れて保管してください。 • Auralis ポンプを高温で長期間保管しないでください。バッテリーの損傷を引き起こすおそれがあります。 • バッテリーを充電することなく Auralis ポンプを 5 ヶ月以上保管しないでください。 	

AURALIS マットレスおよびシートクッション測定値			
部品番号	説明	サイズ mm (in)	重量 kg (重量 0.46kg の輸送バッグ含む)
636T01S	標準 110	2030 x 860 x 115 (80 x 34 x 4.5)	7.9 (17.4)
636T01N	小幅 110	2030 x 780 x 115 (80 x 30 x 4.5)	7.7 (16.9)
636M05S	標準 175	2030 x 860 x 175 (80 x 34 x 7)	13.8 (30.4)
636M05N	小幅 175	2030 x 780 x 175 (80 x 30 x 7)	12.7 (27.9)
636M02S	標準 200	2030 x 860 x 205 (80 x 34 x 8)	11.3 (24.9)
636M02N	小幅 200	2030 x 780 x 205 (80 x 30 x 8)	11 (24.2)
636C01S	シートクッション	470 x 455 x 105 (18.5 x 17.9 x 4)	1.2 (2.6)
636B02	Plus	2140 x 1220 x 205 (84 x 48 x 8)	16 (35.3)
カバー材質		プレミアムファブリック	

本取扱説明書の寸法および重量仕様については、明示的に記載されていないいくつかの公差が存在する場合があります。Arjo は、これらの仕様について最終的な説明を行う権利を有します。

使用可能な組合せ	
Auralis	<ul style="list-style-type: none"> • Skin IQ[®] MCM、カバーのみ • Skin IQ[®] 365、カバーのみ
Auralis Plus	<ul style="list-style-type: none"> • Skin IQ[®] 1000、カバーのみ

耐用年数	
Auralis ポンプ	7 年

騒音レベル	
可聴アラーム中の音量	1.8 m で 55 dBA（水平 1 m、垂直 1.5 m）

使用期間後の廃棄方法	
梱包	段ボール箱、リサイクル可能。
製品	<ul style="list-style-type: none"> • マットレスに使用された繊維材料やその他の繊維、ポリマー、プラスチック材料等は、可燃性廃棄物として分類してください。 • マットレスは、使用終了後に、国または地方自治体法令に従い、廃棄物として処分してください（埋め立て処理、あるいは焼却処理等）。 • 電気および電子部品があるポンプ本体は、電気・電子機器の廃棄 (WEEE) または地方自治体あるいは国の法令に従って分解し、リサイクルしてください。

カバー仕様	
特徴	プレミアムカバー
着脱可能カバー	Yes
透湿性	低充電
防水性 / 撥水性	Yes
ポリウレタンコーティングには微生物による繊維の劣化を抑制するための抗菌剤が含まれています。	Yes
難燃性 ¹	BS 7175: 0, 1 & 5
素材の伸縮特性	4way
推奨洗浄温度	60 °C (140 °F) 15 分
最大洗浄温度	最大 95 °C (203 °F) 15 分
推奨乾燥温度	60 °C (140 °F) または空気乾燥
最大乾燥温度	最大 80 °C (176 °F)
ワイプクロス ²	濃度 1000 ppm の塩素または濃度 70 % のアルコール、非フェノール系、保管する前に製品を乾燥させること

¹ 難燃性試験規格の補足については、各製品の規制タグを参照してください（該当する場合）。

² 塩素濃度は、地方自治体の条例および汚染状態に応じて、250 ppm ~ 10,000 ppm の範囲で変化します。代替の消毒剤を選択する場合、消毒剤を使用する前に適性使用できるかどうか消毒剤メーカーに確認することを Arjo は推奨します。

ラベル

Auralis ポンプのラベル

ラベルの説明	
製品ラベル	入力電力、入力電圧等の技術的性能および要件が記載されています。
シリアル番号ラベル	製品の品番が記載されています。



シリアル番号
ラベル

製品ラベル

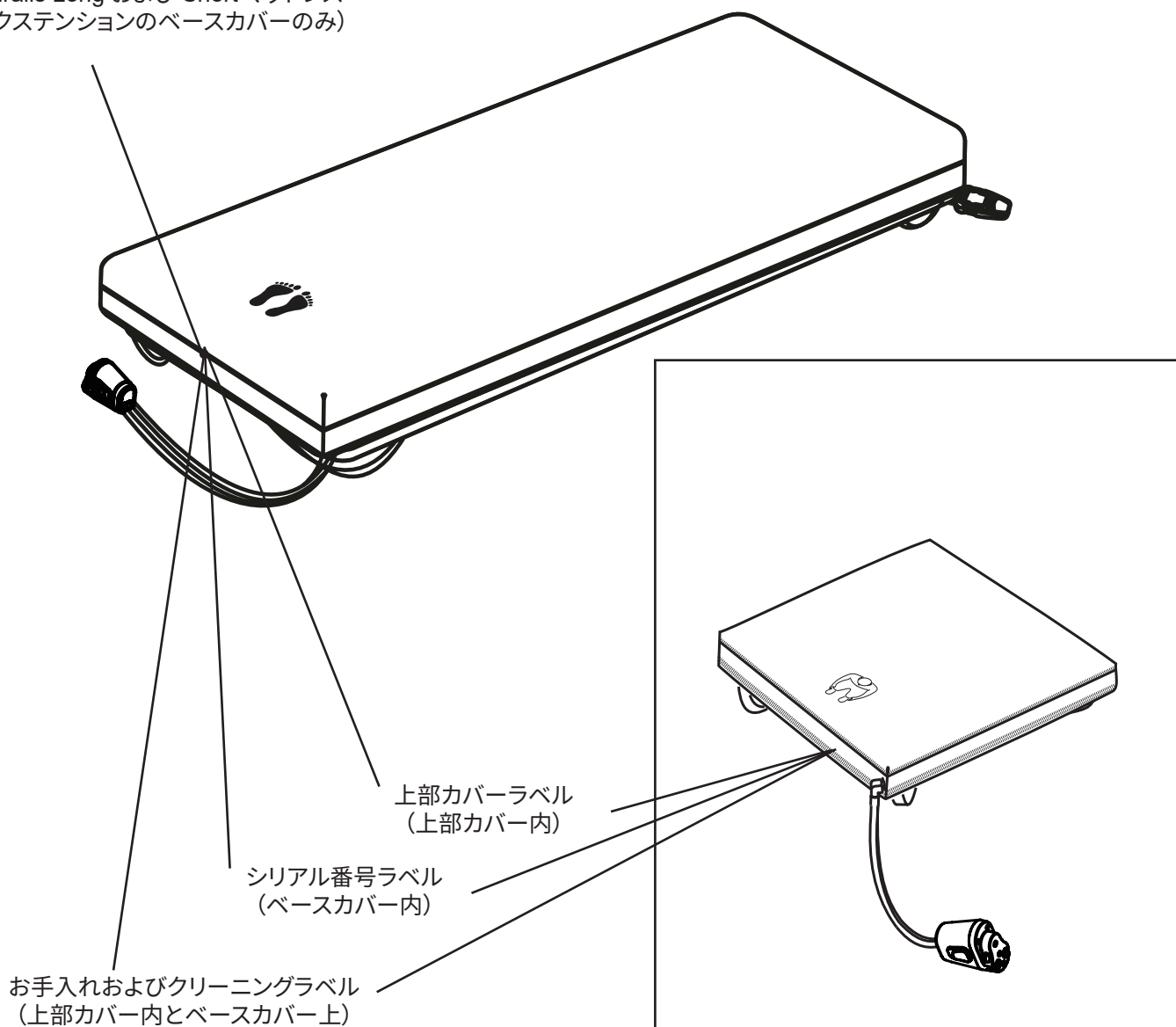
記号の説明	
	使用前に取扱説明書をお読みください。
	欧州共同体統一法への適合を示す CE マーキングを示します数字は認証機関の管理番号です。
	本製品が EU 医療機器規制 2017/745 に準拠した機器であることを示します。
	感電、火災および機械的ハザードについては、CAN/CSA-C22.2 No. 60601.1 (2008)+(2014) および ANSI/AAMI ES60601-1 (2005)+AMD(2012) にのみ準拠します。医療機器
	シリアル番号
	参照番号
	製造元の名称及び住所
	製造日
	欧州指令 2012/19/EC (WEEE) に基づき、電気及び電子部品を分別してリサイクルしてください。
	タイプ BF、適用部品：IEC 60601-1 に基づく感電に対する保護。
	二重絶縁
	温度制限 使用中の製品の温度制限を示します。
	大気圧制限 使用中の製品の許容大気圧上下限を示します。
	湿度制限 使用中の製品の許容相対湿度上下限を示します。
	機器固有識別子 (UDI)。

Auralis マットレス、Auralis シートクッション、Auralis マットレスエクステンションのラベル

ラベルの説明	
シリアル番号ラベル	製品の品番と重量が記載されています
上部カバーラベル	製品の品番と最大患者体重が記載されています
お手入れおよびクリーニングラベル	洗浄条件が記載されています
規制タグ (米国とカナダのみ)	燃焼試験の認証が記載されています

マットレスの例

規制タグ (該当する場合)
 (Auralis 175 マットレス、ならびに
 Auralis Long および Short マットレス
 エクステンションのベースカバーのみ)



記号の説明	
	使用前に取扱説明書をお読みください。
	欧州共同体統一法への適合を示す CE マーキングを示します。
	本製品が EU 医療機器規制 2017/745 に準拠した機器であることを示します。
	ロット番号
	シリアル番号
	参照番号
	製造元の名称及び住所
	製造日
	安全耐荷重は、患者の最大合計荷重 kg を定義します。(マットレス)
	安全耐荷重は、患者の最大合計荷重 kg を定義します。(シートクッション)
	製品重量 (Auralis マットレス)
	製品重量 (Auralis シートクッション)
	推奨洗浄温度：60 °C (140 °F) で 15 分 最大洗浄温度：95 °C (203 °F) で 15 分
	80 °C (176 °F) で回転乾燥 最大乾燥温度：80 °C (176 °F)
	アイロンを使用しないこと
	洗剤を含ませた布で表面を拭き、次に水を湿らせた布で汚れをきれいに拭き取って乾燥させること
	フェノール系洗剤を使用しないこと
	塩素系溶剤は 1000 ppm に希釈して使用すること
	機器固有識別子 (UDI)。

電磁環境適合性 (EMC)

Auralis システム本体 は、以下に示す電磁環境での使用を意図しています。Auralis システムのお客様またはユーザーは、本品がかかる環境下で使用されることを保証しなればなりません。

電磁環境適合性 (EMC)

本品は該当する EMC 規格の要件に適合しています。医療用電気機器は EMC に関して特別な注意を必要とし、以下の指示に従って設置する必要があります。

- メーカーによって指定されていない付属品の使用は、電磁放射の増加あるいは耐性の減少を招き、製品の性能に影響を及ぼすことがあります。
- 携帯型モバイル無線 (RF) 機器 (携帯電話など) は、電気機器に悪影響を及ぼすことがあります。
- この製品を他の電気機器に近接して使用する際は、使用前に機器が正常に動作することを確認する必要があります。

EMC の詳細内容については、Arjo サービス担当者にお問い合わせください。



警告

他の装置の操作に干渉したり安全性に影響を及ぼすため、電気装置を積み重ねたり機器の近くに置いたりすることは推奨しません。ポータブルでモバイル型の無線 (RF) 機器は、装置の操作に干渉したり安全性に影響を及ぼすことがあります。



警告

本製品は電波障害を起こしたり、近隣の装置の動作を妨害することがあります。まわりの機器の再配線、再配置あるいは場所を隔離するなどの措置が必要になることがあります。

ガイドンス及びメーカーの宣言：電磁放射線 (EMI)

ポンプ本体は、以下に示す電磁環境における使用を意図しています。Auralis ポンプのお客様またはユーザーは、本品がかかる環境下で使用されることを保証しなければなりません。

エミッション試験	コンプライアンス	電磁環境 – ガイダンス
RF エミッション	グループ 1	Auralis ポンプ本体は RF エネルギーをその内部機能のためだけにのみ使用します。従って、その RF エミッションは非常に低いため、近隣の電子機器に何らかの影響を及ぼし難くなっています。
RF エミッション	クラス B	このポンプは家庭用施設、および家庭用に使われる建物に供給する公共低電圧電力供給ネットワークに直接接続されたものを含む、あらゆる施設での使用に適しています。
高調波エミッション IEC 61000-3-2	クラス A	
電圧変動 / フリッカ エミッション IEC 61000-3-3	準拠	

ガイダンス及びメーカーの宣言：電磁イミュニティ

Auralis ポンプ本体は、以下に示す電磁環境での使用を意図しています。Auralis ポンプのお客様またはユーザーは、本品がかかる環境下で使用されることを保証しなければなりません。

イミュニティ試験	IEC 60601 試験レベル	コンプライアンスレベル	電磁環境 – ガイダンス
伝導性 RF IEC 61000-4-6	3Vrms 6Vrms ISM, 150kHz ~ 80MHz 80 % AM 1KHz	10Vrms 150kHz ~ 2300MHz	携帯型及び移動型の RF 通信機器は、ケーブルを含めポンプのどの部分からも、送信器の周波数に適用される公式から算出された推奨分離距離以上に離して使用する必要があります。
放射 RF IEC 61000-4-3	10 V/m 80 MHz ~ 2.7 GHz	10 V/m	<p>推奨分離距離</p> $d = 1.2\sqrt{P}$ $d = 1.2\sqrt{P} \quad 80 \text{ MHz to } 800 \text{ MHz}$ $d = 2.3\sqrt{P} \quad 800 \text{ MHz to } 2.5 \text{ GHz}$ <p>ここで、P は通信機メーカーによる通信機の最大定格出力 (W) を、d は推奨分離距離を表わします。</p> <p>固定 RF 送信機からのフィールド強度は、電磁サイト調査によって決定されている通り^a、各周波数範囲のコンプライアンスレベルよりも少ない値にしなければなりません。^b</p> <p>以下の記号が付いている機器の近隣で干渉が発生することがあります：</p> 

注記：80 MHz と 800 MHz では、より高い周波数範囲の分離距離が適用されます。

注記：これらのガイドラインはすべての状況にあてはまるとは限りません。電磁伝搬は構造物、対象物および人体による吸収および反射によって影響されます。

^a 無線（携帯 / コードレス）電話と陸上移動無線の基地局、アマチュア無線、AM/FM ラジオ放送局及び TV 放送局のような固定送信機による電界強度は、理論上、正確に予測することは不可能です。固定 RF 送信機による電磁環境を評価するには、電磁実地調査の実施を検討するようにしてください。Auralis ポンプ本体が使用される場所における測定電界強度が適用される RF 適合性レベルを超える場合は、Auralis ポンプ本体を観察し、正常な操作を確認する必要があります。異常動作が観察されるときは、Auralis ポンプ本体の再設定や移転など追加の措置を取る必要があることもあります。

^b 150 kHz ~ 80 MHz の周波数範囲外にある場合、電界強度は 3 V/m 未満でなければなりません。

携帯 / 移動型 RF 通信機器とポンプとの推奨分離距離

Auralis ポンプ本体は放射 RF の妨害が制御されている電磁環境での使用を目的としています。Auralis ポンプの顧客またはユーザーは、携帯型及び移動型の RF 通信機器（通信機）と Auralis ポンプとの最小距離を、通信機器の最大出力に基づいて以下に推奨される距離に維持することにより、電磁波障害を防ぐことができます。

通信機の 最大定格出力 W	通信機の周波数に基づく分離距離 m		
	150 kHz ~ 80 MHz $d = 1.2\sqrt{P}$	80 MHz ~ 800 MHz $d = 1.2\sqrt{P}$	800 MHz ~ 2.7 GHz $d = 2.3\sqrt{P}$
0.01	0.12	0.12	0.23
0.1	0.38	0.38	0.73
1	1.2	1.2	2.3
10	2.8	3.8	7.3
100	12	12	23

上記リストにない最大出力が定格の通信機については、推奨される分離距離 d (単位 m) は、 P が通信機メーカーによる通信機の最大出力定格 (単位 W) である、通信機の周波数に適用される方程式を用いて推定することができます。

注記： 80 MHz と 800 MHz では、より高い周波数範囲の分離距離が適用されます。

注記： これらのガイドラインはすべての状況にあてはまるとは限りません。電磁伝搬は構造物、対象物および人体による吸収および反射によって影響されます。

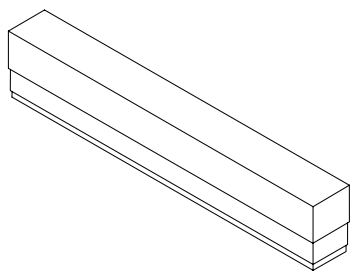
ガイドランスとメーカー宣言 – 電磁環境耐性

Auralis ポンプ本体は、以下に示す電磁環境での使用を意図しています。Auralis ポンプのお客様またはユーザーは、本品がかかる環境下で使用されることを保証しなければなりません。

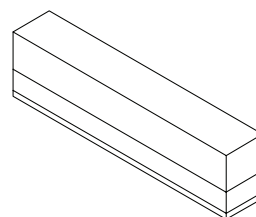
イミュニティ試験	IEC 60601 試験レベル	コンプライアンスレベル	電磁環境 – ガイドランス
静電気放電 (ESD) IEC 61000-4-2	± 8 kV 接触 ± 15 kV 空中	± 8 kV 接触 ± 15 kV 空中	床はフローリング、コンクリートあるいはセラミックタイルにしてください。床が合成材に変更された場合、相対湿度は最低 30 % にしなければなりません。
電氣的ファースト・トランジェント / バースト IEC 61000-4-4	± 2 kV (電源ライン) ± 1 kV 出入カライン用	± 2 kV (電源ライン) 入力 / 出カラインは適用不可	電源品質は国内の一般的な商業環境あるいは病院環境と同等としてください。
サージ IEC 61000-4-5	± 1 kV 線間	± 1 kV 線間	電源品質は国内の一般的な商業環境あるいは病院環境と同等としてください。
電源入力ライン上の電圧降下、中断および電圧変動 IEC 61000-4-11	<5 % U_T (>95 % ディップ、 U_T) for 0.5 サイクル用 40 % U_T (60 % ディップ、 U_T) 5 サイクル用 70 % U_T (30 % ディップ、 U_T) 25 サイクル用 <5 % U_T (>95 % ディップ、 U_T) 5 s 用	<5 % U_T (>95 % ディップ、 U_T) for 0.5 サイクル用 40 % U_T (60 % ディップ、 U_T) 5 サイクル用 70 % U_T (30 % ディップ、 U_T) 25 サイクル用 <5 % U_T (>95 % ディップ、 U_T) 5 s 用	電源品質は国内の一般的な商業環境あるいは病院環境と同等としてください。 主電源が遮断された状態で Auralis ポンプのユーザーが運転継続を必要とする場合は、無停電電源装置またはバッテリーから Auralis ポンプに電力供給することが推奨されます。
電源周波数 (50/60 Hz) 電磁界 IEC 61000-4-8	30 A/m	30 A/m	電力周波数磁場は、国内の一般的な商業環境または病院環境における一般的な場所と同じ特性レベルにしてください。

注記： U_T は試験電圧を適用する前の AC 電源の電圧です。

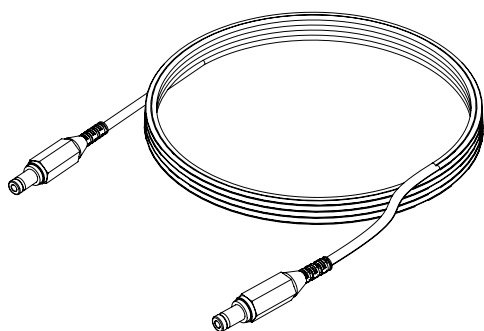
部品とアクセサリ



Auralis Plus Long マットレスエクステンション
アクセサリ
636614



Auralis Plus Short マットレスエクステンション
アクセサリ
636615



Skin IQ 電源ケーブル コイル
636377

意図的に空白

意図的に空白

意図的に空白

AUSTRALIA

Arjo Australia
 Building B, Level 3
 11 Talavera Road
 Macquarie Park, NSW, 2113,
 Australia
 Phone: 1800 072 040

BELGIQUE / BELGIË

Arjo Belgium
 Evenbroekveld 16
 9420 Erpe-Mere
 Phone: +32 (0) 53 60 73 80
 Fax: +32 (0) 53 60 73 81
 E-mail: info.belgium@arjo.com

BRASIL

Arjo Brasil Equipamentos Médicos Ltda
 Rua Marina Ciufuli Zanfelicé, 329 PB02
 Galpão - Lapa
 São Paulo – SP – Brasil
 CEP: 05040-000
 Phone: 55-11-3588-5088
 E-mail: vendas.latam@arjo.com
 E-mail: servicios.latam@arjo.com

CANADA

Arjo Canada Inc.
 90 Matheson Boulevard West
 Suite 350
 CA-MISSISSAUGA, ON, L5R 3R3
 Tel/Tél: +1 (905) 238-7880
 Free: +1 (800) 665-4831
 Fax: +1 (905) 238-7881
 E-mail: info.canada@arjo.com

ČESKÁ REPUBLIKA

Arjo Czech Republic s.r.o.
 Na Strži 1702/65
 140 00 Praha
 Czech Republic
 Phone No: +420225092307
 E-mail: info.cz@arjo.com

DANMARK

Arjo A/S
 Vassingerødvej 52
 DK-3540 LYNGE
 Tel: +45 49 13 84 86
 Fax: +45 49 13 84 87
 E-mail: dk_kundeservice@arjo.com

DEUTSCHLAND

Arjo GmbH
 Peter-Sander-Strasse 10
 DE-55252 MAINZ-KASTEL
 Tel: +49 (0) 6134 186 0
 Fax: +49 (0) 6134 186 160
 E-mail: info-de@arjo.com

ESPAÑA

ARJO IBERIA S.L.
 Poligono Can Salvatella
 c/ Cabanyes 1-7
 08210 Barberà del Valles
 Barcelona - Spain
 Telefono 1: +34 900 921 850
 Telefono 2: +34 931 315 999

FRANCE

Arjo SAS
 2 Avenue Alcide de Gasperi
 CS 70133
 FR-59436 RONCQ CEDEX
 Tél: +33 (0) 3 20 28 13 13
 Fax: +33 (0) 3 20 28 13 14
 E-mail: info.france@arjo.com

HONG KONG

Arjo Hong Kong Limited
 Room 411-414, 4/F, Manhattan Centre,
 8 Kwai Cheong Road, Kwai Chung, N.T.,
 HONG KONG
 Tel: +852 2960 7600
 Fax: +852 2960 1711

ITALIA

Arjo Italia S.p.A.
 Via Giacomo Peroni 400-402
 IT-00131 ROMA
 Tel: +39 (0) 6 87426211
 Fax: +39 (0) 6 87426222
 E-mail: Italy.promo@arjo.com

MIDDLE EAST

Arjo Middle East FZ-LLC
 Office 908, 9th Floor,
 HQ Building, North Tower,
 Dubai Science Park,
 Al Barsha South
 P.O. Box 11488, Dubai,
 United Arab Emirates
 Direct +971 487 48053
 Fax +971 487 48072
 Email: Info.ME@arjo.com

NEDERLAND

Arjo Nederland BV
 Biezenwei 21
 4004 MB TIEL
 Postbus 6116
 4000 HC TIEL
 Tel: +31 (0) 344 64 08 00
 Fax: +31 (0) 344 64 08 85
 E-mail: info.nl@arjo.com

NEW ZEALAND

Arjo Ltd
 34 Vestey Drive
 Mount Wellington
 NZ-AUCKLAND 1060
 Tel: +64 (0) 9 573 5344
 Free Call: 0800 000 151
 Fax: +64 (0) 9 573 5384
 E-mail: nz.info@Arjo.com

NORGE

Arjo Norway AS
 Olaf Helset's vei 5
 N-0694 OSLO
 Tel: +47 22 08 00 50
 Faks: +47 22 08 00 51
 E-mail: no.kundeservice@arjo.com

ÖSTERREICH

Arjo Austria GmbH
 Lemböckgasse 49 / Stiege A / 4.OG
 A-1230 Wien
 Tel: +43 1 8 66 56
 Fax: +43 1 866 56 7000

POLSKA

Arjo Polska Sp. z o.o.
 ul. Ks Piotra Wawrzyniaka 2
 PL-62-052 KOMORNIKI (Poznań)
 Tel: +48 691 119 999
 E-mail: arjo@arjo.com

PORTUGAL

Arjo em Portugal
 MAQUET Portugal, Lda.
 (Distribuidor Exclusivo)
 Rua Poeta Bocage n.º 2 - 2G
 PT-1600-233 Lisboa
 Tel: +351 214 189 815
 Fax: +351 214 177 413
 E-mail: Portugal@arjo.com

SUISSE / SCHWEIZ

Arjo Switzerland AG
 Fabrikstrasse 8
 Postfach
 CH-4614 HÄGENDORF
 Tél/Tel: +41 (0) 61 337 97 77
 Fax: +41 (0) 61 311 97 42

SUOMI

Arjo Scandinavia AB
 Riihitontuntie 7 C
 02200 Espoo
 Finland
 Puh: +358 9 6824 1260
 E-mail: Asiakaspalvelu.finland@arjo.com

SVERIGE

Arjo International HQ
 Hans Michelsensgatan 10
 SE-211 20 MALMÖ
 Tel: +46 (0) 10 494 7760
 Fax: +46 (0) 10 494 7761
 E-mail: kundservice@arjo.com

UNITED KINGDOM

Arjo UK and Ireland
 Houghton Hall Park
 Houghton Regis
 UK-DUNSTABLE LU5 5XF
 Tel: +44 (0) 1582 745 700
 Fax: +44 (0) 1582 745 745
 E-mail: sales.admin@arjo.com

USA

Arjo Inc.
 2349 W Lake Street Suite 250
 US-Addison, IL 60101
 Tel: +1 (630) 307-2756
 Free: +1 (800) 323-1245
 Fax: +1 (630) 307 6195
 E-mail: us.info@arjo.com

JAPAN

Arjo Japan K.K.
 東京都港区虎ノ門三丁目7番8号
 ランディック第2虎ノ門ビル9階
 Tel: +81 (0)3-6435-6401
 Fax: +81 (0)3-6435-6402
 E-mail: info.japan@arjo.com

At Arjo, we believe that empowering movement within healthcare environments is essential to quality care. Our products and solutions are designed to promote a safe and dignified experience through patient handling, medical beds, personal hygiene, disinfection, diagnostics, and the prevention of pressure injuries and venous thromboembolism. With over 6500 people worldwide and 65 years caring for patients and healthcare professionals, we are committed to driving healthier outcomes for people facing mobility challenges.



ArjoHuntleigh AB
Hans Michelsensgatan 10
211 20 Malmö, Sweden
www.arjo.com

arjo

CE
2797